

ベネズエラ日本食品消費動向調査

2012年12月

日本貿易振興機構（ジェトロ）
海外調査部、農林水産・食品部
カラカス事務所

本レポートに関する問い合わせ先：
日本貿易振興機構（ジェトロ）
海外調査部 中南米課

〒107-6006
東京都港区赤坂 1-12-32 アーク森ビル
TEL：03-3582-4690
E-mail：ORC@jetro.go.jp

【免責条項】

本レポートで提供している情報は、ご利用される方のご判断・責任においてご使用ください。ジェトロでは、できるだけ正確な情報の提供を心掛けておりますが、本レポートで提供した内容に関連して、ご利用される方が不利益等を被る事態が生じたとしても、ジェトロ及び執筆者は一切の責任を負いかねますので、ご了承ください。

.....

アンケート返送先 FAX： 03-3587-2485

e-mail：ORC@jetro.go.jp

日本貿易振興機構 海外調査部 中南米課宛

● ジェトロアンケート ●

調査タイトル：ベネズエラ日本食品消費動向調査

ジェトロでは、ベネズエラにおける食品市場への輸出促進を目的に本調査を実施いたしました。報告書をお読みいただいた後、是非アンケートにご協力をお願い致します。今後の調査テーマ選定などの参考にさせていただきます。

■質問1：今回、本報告書で提供させていただきました「ベネズエラにおける食品市場調査」について、どのように思われましたでしょうか？（○をひとつ）

4：役に立った 3：まあ役に立った 2：あまり役に立たなかった 1：役に立たなかった

■質問2：①使用用途、②上記のように判断された理由、③その他、本報告書に関するご感想をご記入下さい。

--

■質問3：今後のジェトロの調査テーマについてご希望等がございましたら、ご記入願います。

--

■お客様の会社名等をご記入ください。（任意記入）

ご所属	<input type="checkbox"/> 企業・団体	会社・団体名
	<input type="checkbox"/> 個人	部署名

※ご提供頂いたお客様の情報については、ジェトロ個人情報保護方針 (<http://www.jetro.go.jp/privacy/>) に基づき、適正に管理運用させていただきます。また、上記のアンケートにご記載いただいた内容については、ジェトロの事業活動の評価及び業務改善、事業フォローアップのために利用いたします。

～ご協力有難うございました～

目次

第1章 ベネズエラの概況

1. 一般的事項・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
2. 基礎経済指標（2011年）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
3. 人口規模・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2
4. ベネズエラ人の消費性向・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4
5. 潜在的な日本食市場規模・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5

第2章 ベネズエラの食品輸入の状況

1. ベネズエラの食品輸入・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 7
2. 日本からの食品輸入の状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 9

第3章 ベネズエラ人の食文化・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 10

第4章 ベネズエラでの日本食普及状況と展望

1. 日本食レストランの状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 11
 - (1) 日本食レストラン「阿比良亭」・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 12
 - (2) 日本食レストラン「ふぐ」・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 13
 - (3) 日本食レストラン「コトスシ」・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 14
 - (4) 日本食レストラン「バンザイ・スシ」・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 15
 - (5) 日本食レストラン「ボンサイ・スシ」・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 16
2. 日本食材店・スーパーマーケット等の状況
 - (1) 日本食材店の状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 17
 - (2) スーパーマーケットの状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 18
 - (3) その他日本食市場・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 18
3. 日本食材輸入業者の状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 18

第5章 日本食に関するアンケート調査結果

1. アンケート調査基礎情報・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 20
2. アンケート調査結果・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 21
3. アンケート結果まとめ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 27

第6章 ベネズエラの貿易制度留意点と食品輸入関連法制度

1. 貿易制度留意点・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 28

2. 食品輸入販売関連法制度	
(1) 食品輸入制度概要	29
(2) 厚生省への衛生登録手続き	30
(3) 外貨発給申請、決済	30
(4) 知的財産管理局（S A P I）への商品登録手続き	31
3. ベネズエラの食品添加物規則	32
4. 食品に課せられる税金	33
5. 食品ラベルの表示規則	34
6. 輸入手続き関係団体リスト	35

第7章 ベネズエラ日本食市場総論および日本食輸出拡大の可能性について	36
------------------------------------	----

【別添資料】 日本食材取り扱い関係者リスト

1. 日本食材輸入業者リスト	38
2. 小売店リスト	39
3. レストランリスト	41

第1章 ベネズエラの概況

1. 一般的事項

国・地域名	ベネズエラ・ボリバル共和国 Bolivarian Republic of Venezuela
面積	912,050平方キロメートル(日本の2.41倍)
人口	2,883万人 (2010年末、推定値、出所: 国家統計院(INE))
首都	カラカス 人口210万人 (首都圏、2009年、推定値、出所: 国家統計局)
言語	スペイン語
宗教	ローマカトリック(89%)

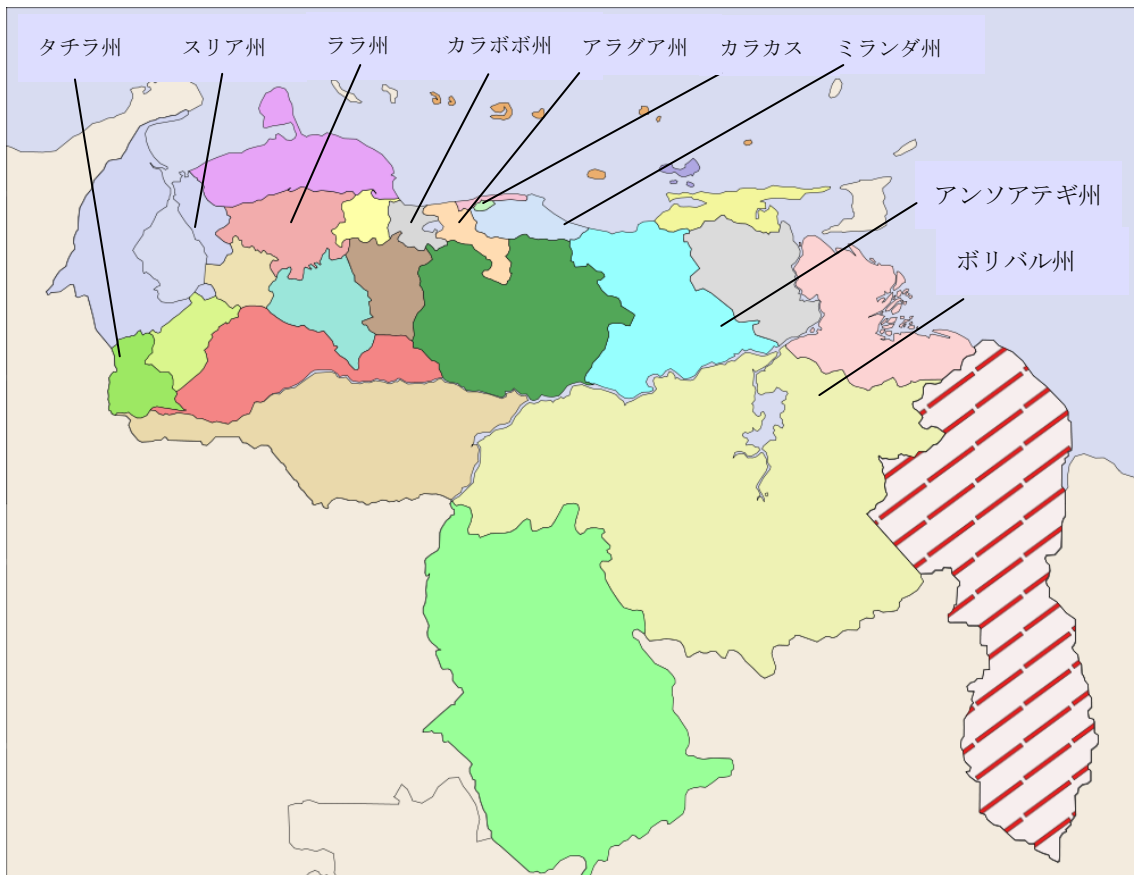
2. 基礎的経済指標 (2011年)

実質GDP成長率(%)	4.2
名目GDP総額 -ドル(単位:100万)	316,482
一人あたりのGDP(名目) -ドル	10,610
消費者物価上昇率(%)	27.6
失業率(%)	7.8
経常収支(国際収支ベース) -ドル(単位:100万)	27,205
貿易収支(国際収支ベース) -ドル(単位:100万)	46,161
外貨準備高 -ドル(単位:100万)	9,930
対外債務残高 -ドル(単位:100万)	96,420
為替レート (期中平均値、対ドルレート)	4.2893
為替レート (期末値、対ドルレート)	4.2893
輸出額 -ドル(単位:100万)	92,602
対日輸出額 -ドル(単位:100万)	40
輸入額 -ドル(単位:100万)	46,441
対日輸入額 -ドル(単位:100万)	851
直接投資受入額 -ドル(単位:100万)	5,302

3. 人口規模

INE（国家統計院）が2011年に10年ぶりに実施した国勢調査の結果（速報版）によると、同年10月30日時点でのベネズエラの人口は約2,883万人であった。

ベネズエラは23の州と首都カラカスからなる国で南米の中では5番目に人口の多い国である。最も人口が多いのは人口約370万人のスリア州（州都マラカイボ）、次いで約268万人のミランダ州。ベネズエラの首都カラカスはミランダ州の中に位置するものの独立した地域とされているため、人口統計では別で数えられるが、カラカスとミランダ州の人口を合計すれば約462万人となりスリア州を超える規模の人口となる。



注) 地図網掛部分はベネズエラの国境紛争地域

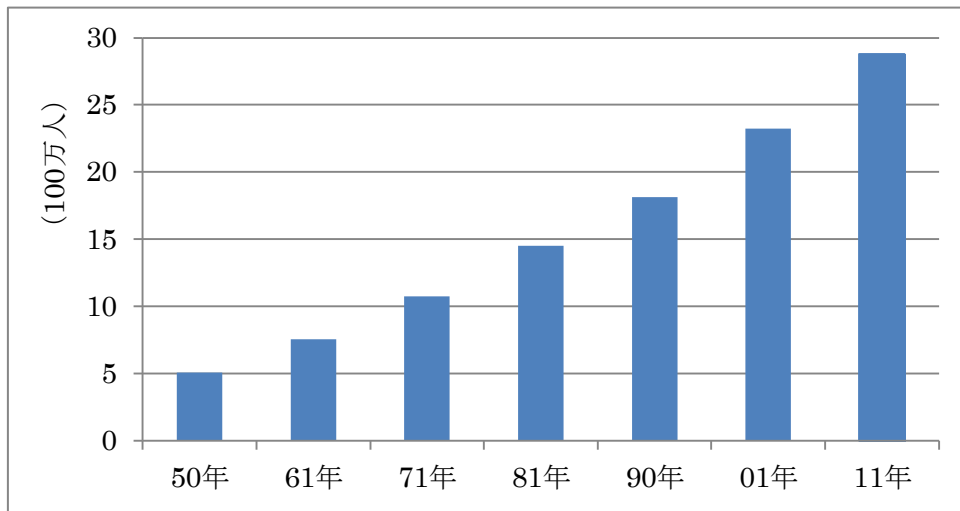
〔表1〕 ベネズエラ主要州および人口（100万人を超える州）

州名	人口	州名	人口	州名	人口
スリア州	3,704,404	カラカス首都圏	1,943,901	アンソアテギ州	1,469,747
ミランダ州	2,675,165	ララ州	1,774,867	ボリバル州	1,410,964
カラボボ州	2,245,744	アラグア州	1,630,308	タチラ州	1,168,908

出所:INE(国家統計院) 11年国勢調査結果(速報版)

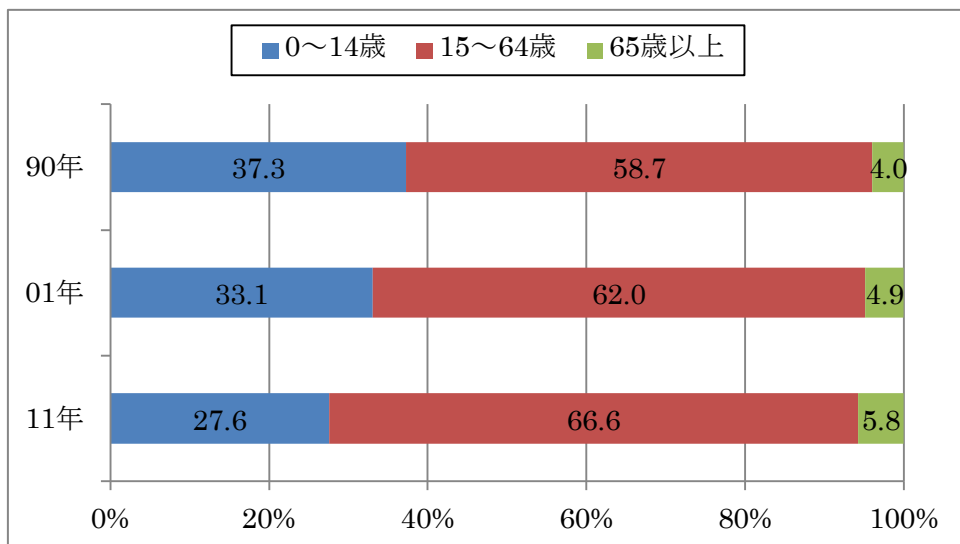
過去に行われた国勢調査の結果は〔表 2〕のとおりで、これによると前回 2001 年の調査以降の人口増加率は年率 1.6%である。1990 年および 2001 年調査の間の人口増加率は 2.3%であった。2011 年の年齢別人口構成比を見ると、0～14 歳が全体の 27.6%、15～64 歳が 66.6%、65 歳以上が 5.8%となっており、1990 年、2001 年と比べると 0～14 歳の人口が減少している〔表 3〕。なお 2011 年時点の男性・女性の比率は 49.7%対 50.3%であり若干女性が多い（女性が 100 人だとすると男性は 98.9 人）。

〔表 2〕人口の推移(50～11 年)



出所:INE(国家統計院) 11 年国勢調査結果(速報版)

〔表 3〕年齢層別人口構成比

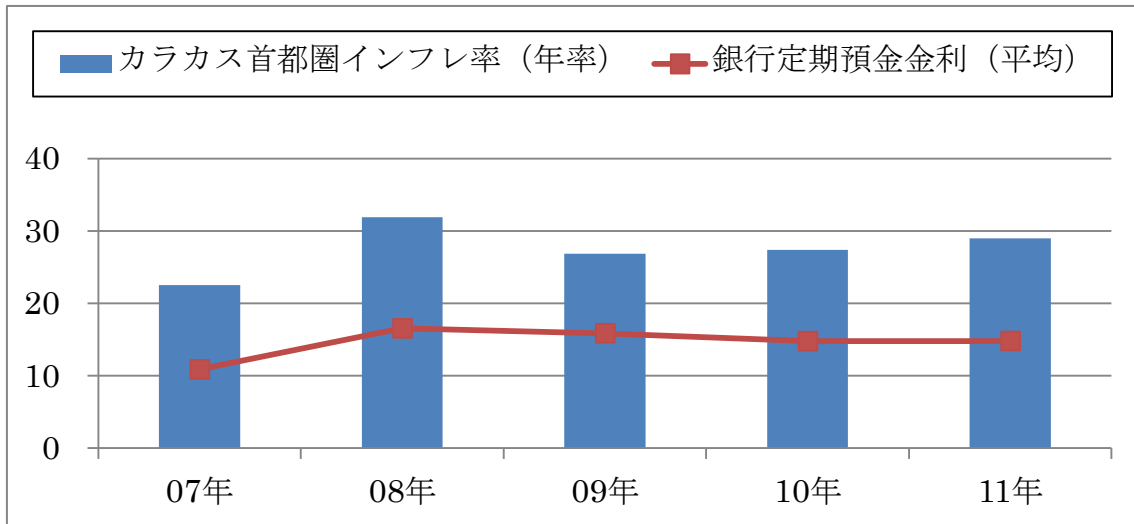


出所:INE(国家統計院) 11 年国勢調査結果(速報版)

4. ベネズエラ人の消費性向

一般的にベネズエラ人は他国と比べあまり貯蓄をしないとされている。理由として、慢性的な高インフレが挙げられる。2007年から2011年間の平均インフレ率は年率27.5%。一方、銀行定期預金金利は同期平均で14.6%とインフレ率を大きく下回っているため、銀行に預金したとしてもインフレにより貯蓄が目減りする構造になっており、ベネズエラ人の消費を加速させる大きな要因となっている。

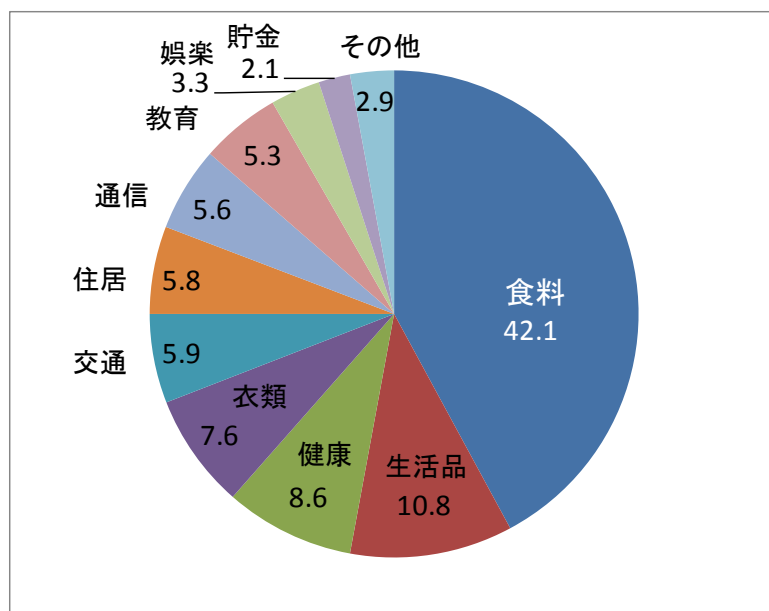
〔表4〕 カラカス首都圏インフレ率（年率）および銀行定期預金金利（平均）（%）



出所:BCV(ベネズエラ中央銀行)

また、世帯所得の支出内訳は以下の通りである。食料の購入が全体の4割強と割合が高い。

〔表5〕 ベネズエラの家計世帯所得の支出内訳（%）



出所: Datanalysis

5. 潜在的な日本食市場規模

ベネズエラにおける潜在的な日本食市場規模を把握するに当たり、当地民間調査会社 Datanalisis の発表したデータを活用する。平均世帯所得によって A から E まで階層分けされており、D、E 層は生活に最低限必要な所得を維持している家計で日本食レストランを利用する対象にはならない。潜在的な日本食顧客となるのは C 層以上の階層とされる。

C 層以上の階層はベネズエラ人口全体の約 20% 程度だが、ベネズエラ人の所得額全体の 42.1% と半分弱を占めていることが分かる（表 8 参照）。

〔表 6〕 所得別各層の分布および平均世帯所得（2012 年 1 月）

	A	B	C	D	E
分布(%)	2.1		18.3	35.7	43.9
平均世帯所得(BsF)	21,633.7		10,100.41	5,132.54	3,755.95
最低賃金換算(倍)注1	12.15		5.67	2.88	2.11
平均世帯所得(US\$)注2	5,031.09		2,348.93	1,193.61	873.48
世帯あたりの平均人数(人)	4.63		4.72	5.34	5.01

出所：Datanalisis

注 1：調査当時の最低賃金（Bs1,780.45）に基づく

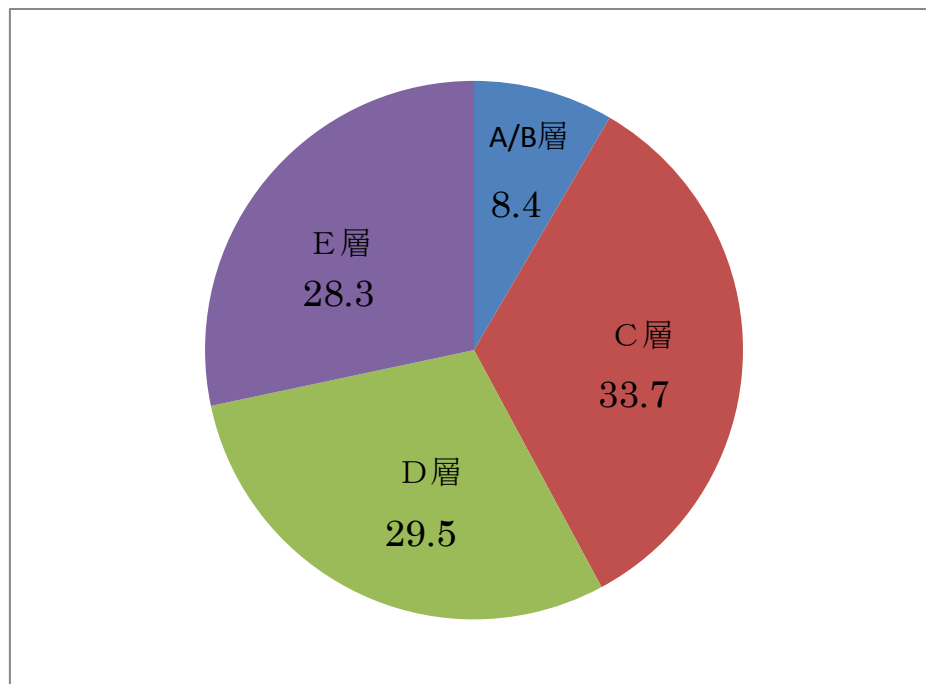
注 2：4.3Bs=1US\$で換算（2012 年 10 月時点）

〔表 7〕 平均所得階層別の生活水準（参考）

階層	A	B	C	D	E
主な働き先	民間企業幹部 自営業		民間企業労働者 自営業	週払い労働者 公務員	日雇い労働者 小規模自営業 公務員
住居形態	高級マンション 大きな家		アパート 普通の家	簡易な家	簡易な家 地面が床の家
排水設備	完備		完備	完備	完備されていない
主な学歴	大学卒 大学院卒		専門学校卒 大学卒	小、中学卒 高校卒	小、中学卒 高校卒
主な居住地域 (カラカス市内)	カントリークラブ、 バジャアリバ、 ララグニータ、 アルタミラルタ		エルカフェタル、 エルマルケス、 ラカステジャナアバ ホ	カティア、 23デエネロ、 カリクアオ	マメラ、 ラボンビジャ、 カラピタ

出所：Datanalisis

〔表 8〕 所得階層別の所得分布（%）



出所：Datanálisis、INE（国家統計院）2011年10月時点ベネズエラ人口（28,946,101人、推定値）から階層分布を基にジェットロにて計算。四捨五入しているため、各層の合計が100にならない。

第2章 ベネズエラの食品輸入の状況

1. ベネズエラの食品輸入

ベネズエラの世界からの食品輸入額は、2011年に38億3,157万ドルであり、同国輸入全体の約11%に相当する。食品が輸入全体に占める割合は比較的高いが、2011年の食品輸入金額は2010年実績と比べ5.4%の減少で2009年からみてもベネズエラの食品輸入は減少傾向にあることが分かる。

アルゼンチン、米国、ブラジルが主な食品輸入相手国であり、この3カ国で食品輸入全体の45%程度を占める。米国からの食品輸入は減少傾向にあり、米国からの輸入減少を補うかたちでアルゼンチンからの食品輸入額が増えている。

[表9] ベネズエラの食品輸入

(単位 FOB 1,000 ドル、%)

順位	国名	2009年	2010年	2011年		伸び率 10/11
		金額	金額	金額	構成比	
1	アルゼンチン	488,204.8	410,833.7	606,724.9	15.8%	32.3%
2	米国	819,890.8	732,424.6	556,976.2	14.5%	△31.5%
3	ブラジル	1,194,042.3	564,761.3	533,245.0	13.9%	△5.9%
4	カナダ	325,582.5	320,428.0	321,616.7	8.4%	0.4%
5	エクアドル	364,218.3	267,883.9	271,356.0	7.1%	1.3%
6	ニュージーランド	294,267.1	132,167.2	209,104.2	5.5%	36.8%
7	コロンビア	878,840.7	160,405.9	172,941.0	4.5%	7.2%
8	ニカラグア	101,358.8	149,475.1	167,117.8	4.4%	10.6%
9	チリ	481,200.2	227,693.1	148,608.4	3.9%	△53.2%
10	ウルグアイ	123,189.1	176,522.4	119,970.2	3.1%	△47.1%
61	日本	1,635.5	1,584.8	26.4	0.0%	△5903.0%
	その他	1,167,663.5	892,971.5	723,886.9	18.9%	△23.4%
	全世界	6,240,093.6	4,037,151.5	3,831,573.7	100.0%	△5.4%

(注)「食品」はHS02～04、07～11、13～22類を対象とした。順位は2011年のもの。

出所：INE（国家統計院）

ベネズエラは品質の良いカカオが取れるため世界に向けてカカオの輸出を行っているが、食品については純輸入国である。主要な輸入品目は穀物、動植物性の油脂・ろう、酪農品・鳥卵・蜂蜜、食肉で、この4品目で全体の約62%を占めている。

穀物は食品輸入全体の22.2%を占めている。ベネズエラではとうもろこし粉を固めてパンにして食べる食文化があり、小麦、とうもろこし粉などの輸入が多いことが要因。また、ブラジル、アルゼンチンと同様に肉を食べる文化があるため、食肉の輸入は全体の10.4%と多く、その大半はアルゼンチン、ブラジルからの輸入である。また、豚肉より牛肉、鶏肉を好むため、輸入肉の内訳も牛肉、鶏肉が多く、豚肉はあまり輸入されていない。

その他に酪農品・鳥卵・蜂蜜の輸入が多い。特に乳牛、チーズの輸入が多い。ベネズエラでは長期保存用に粉ミルクを購入する消費者が多く、粉ミルクはニュージーランドからの輸入が多い。動植物性の油脂・ろうについては大豆油の輸入が多く、アルゼンチンが主要な輸入先である。

〔表 10〕 ベネズエラの主要分野別食品輸入（対世界）

（単位 FOB1,000 ドル、％）

HS	分野	2009年	2010年	2011年	
		金額	金額	金額	構成比
02	食肉	1,550,933.8	518,356.8	399,996.0	10.4%
03	魚介類	222,102.6	78,772.0	5,647.6	0.1%
04	酪農品・鳥卵・蜂蜜	869,217.0	421,621.9	520,569.5	13.6%
07	野菜・根菜類	202,068.5	142,489.5	141,316.5	3.7%
08	果物・ナッツ	124,233.8	78,017.1	28,842.8	0.8%
09	スパイス・コーヒー・茶	30,424.9	92.3	125,205.3	3.3%
10	穀物	905,704.4	824,860.5	850,669.6	22.2%
11	穀粉・加工穀粉・澱粉等	177,503.2	153,085.2	130,662.7	3.4%
13	ラック・ガム・樹脂等	34,780.3	32,160.9	17,617.4	0.5%
14	その他植物性製品	1,749.4	1,737.6	1,339.5	0.0%
15	動植物性の油脂・ろう	564,576.5	566,135.0	600,481.4	15.7%
16	食肉・魚介類加工品	279,208.4	163,640.7	118,117.1	3.1%
17	砂糖・砂糖菓子	283,206.4	254,094.2	304,700.8	8.0%
18	ココア・同製品	45,500.7	41,107.5	45,416.8	1.2%
19	ベーカリー製品	290,755.9	200,962.5	159,609.5	4.2%
20	野菜・果物加工品	177,413.4	149,184.3	112,157.4	2.9%
21	各種調整食料品	258,322.5	191,461.7	149,886.0	3.9%
22	飲料・アルコール	222,391.8	127,180.2	119,337.8	3.1%
食品合計		6,240,093.5	3,944,959.9	3,831,573.7	100.0%

出所：I N E（国家統計院）

2. 日本からの食品輸入の状況

日本からの輸入は2010年から2011年の間で5903%減少しており、2011年の輸入金額は2万6,400ドルで日本から輸入された食品は各種調整食料品(ソース等)のみであった。

一方、2010年、2009年は150万ドルを超える食品輸入があった。食肉・魚介類加工品が多く、詳細をみると魚類卵調整品の輸入が多かった。当地の日本食レストランではまさご(ししゃもの卵)が寿司ネタとして使用されることが多く、魚類卵調整品はまさごの輸入と考えられる。

これらの統計結果をみるとベネズエラの日本食市場は非常に小規模と思えるが、実際は同国では寿司を中心として日本食が浸透しており、日本食材をメインに扱う輸入商社も複数存在する。統計で日本食の輸入状況が把握できない理由は、ほとんどの輸入商社が米国を経由して日本食の輸入を行っているためである。

[表 11] ベネズエラの主要分野別対日食品輸入

(単位 FOB 1,000 ドル)

HS	分野	2009年	2010年	2011年
		金額	金額	金額
03	魚介類	0	25.5	0
13	ラック・ガム・樹脂等	126.0	0	0
15	動植物性の油脂・ろう	200.4	0	0
16	食肉・魚介類加工品	551.9	1,363.5	0
21	各種調整食料品	757.2	195.8	26.4
食品合計		1,635.5	1,584.8	26.4

[表 12] 代表的な日本産輸入食品

(単位 FOB ドル)

HS	分野	2009年	2010年	2011年
		金額	金額	金額
210310	醤油	174,960.3	111,534.9	0
210390	その他調味料	62,530.1	83,938.7	26,449.1
210600	調整食料品	519,688.0	363.8	0
160000	食肉・魚介類加工品	551,889.8	1,363,485.5	0
160420	魚類卵調整品	462,280.0	996,600.0	0
160500	甲殻類、軟体動物等調整品	89,609.8	366,885.5	0

出所：表9、表10ともにINE（国家統計院）

第3章 ベネズエラ人の食文化

ベネズエラは他の中南米諸国と同様に牛肉を主食とする。また、とうもろこし粉を生地にしたパン「アレパ」やパンケーキの「カチャパ」などとうもろこし粉を多用する。一般的に濃い味付けを好むが、辛い料理はあまり食べない。塩味のきいた牛肉に甘いソースをかける「アサード・ネグロ」など一つの料理に甘味と塩味が混ざった料理もいくつか存在する。人口の9割近くがカトリック教徒のため、食材の規制などは特に存在しない。

代表的なベネズエラ料理



<カチャパ>

とうもろこしの粉で作ったパンケーキ。朝食に食べられることが多い。生地に甘みがある。チーズを挟み、バターを上塗りなどして食べる。

<アレパ>

最もポピュラーなベネズエラの伝統料理。パン生地はとうもろこし粉で出来ている。パンの真ん中をナイフで開き、その中に牛肉やアボカドなど好みの食材を入れて食べる。



<パベジョン・クリオージョ>

最もポピュラーなベネズエラの伝統料理のひとつ。揚げたバナナ、割いた牛肉が煮込まれたもの、塩味の黒豆と真ん中にご飯が乗せられている。

第4章 ベネズエラでの日本食普及状況と展望

輸入商社、卸売業者の一般的な食品販売先として、レストラン、小売店、ホテル、ケータリングサービス会社、食品メーカーが挙げられるが、主要な販売先はレストラン、小売店となるだろう。ベネズエラにおいてもこの状況は変わらないが、日本食材については醤油など一部商品を除き、スーパーマーケットなど小売店で見かけることは少ない。また、国内の食品メーカーへ原材料として日本食材を販売するのは価格が高すぎるため一般的ではない。一方、日本食レストランはベネズエラ国内、特にカラカス市内を中心に至るところに存在する。よって、日本食材を扱う卸売業者の主なターゲットは日本食レストランとなる。将来的な小売店への日本食材拡販の可能性は残されているが、目下、ベネズエラ国内で拡販が可能な食品は業者向け製品のみと思われる。

については、ベネズエラ国内の日本食レストラン経営者に消費者の客層、購買動向、評判の良い商品、またそうでない商品など現地のニーズをヒアリングすることがベネズエラの日本食市場攻略において重要である。ジェットロ・カラカス事務所ではカラカス市内で3店舗、人口規模の大きいスリア州の州都マラカイボで2店舗の日本食レストラン店経営者へのヒアリングおよび、カラカス市内で日本食の輸入を行っている2社へのヒアリングを実施した。

以下、ベネズエラ国内の日本食レストラン、日本食材輸入商社、日本食材小売店について紹介する。なお、輸入業者に対して実施したヒアリングについては企業が特定されることを防ぐため2社のヒアリング内容を合わせて紹介する。

1. 日本食レストランの状況

ベネズエラの流行は米国の影響を受けることが多い。日本食についても米国でブームをきっかけに2000年代前半からベネズエラ国内に浸透した。公式な数字は存在しないが、日本食レストランはベネズエラ国内に300店舗以上存在すると言われている。

日本食と言えば寿司（特に巻き寿司）のイメージが強いものの、現在ではベネズエラ国内で日本食は十分に認知をされており、市内はもちろん、ショッピングセンターのフードコートなど至るところで日本食レストランを目にすることができる。

日本食レストランの種類は2つに分けられる。一つはベネズエラ風のアレンジされた日本食レストラン、もう一つは伝統的な日本食レストラン。現地化された日本食は価格も比較的安価でテイクアウトなどランチとして利用されることが多く、若者も含めて気軽に利用される一方、伝統的なレストランは接待、会食など特別な機会に利用されることが多い。また、近年ベネズエラではタイ料理もブームになっている。アジア料理としてタイ料理と日本食（特に寿司）を提供するレストランも多い。

(1) 日本食レストラン「阿比良亭」(アビラ亭)

カラカス市内の日本人駐在員の多いアルタミラ地区に位置する日本食レストラン。1978年に開業したベネズエラで最も歴史のある日本食レストラン。オーナーは日本人。「アビラ亭」の他に「イチバン」という現地風アレンジされた日本食レストランも経営している。

■インタビュー内容

Q1. 客層について

1978年の開業当時は40～50歳の客がほとんどだったが、10年ほどたってから若者も少しずつ客として訪れるようになった。今では、その頃の若者たちが子供連れでやって来ているため様々な客層に利用してもらっている。昔はベネズエラ人と日本人がほとんどだったが、最近では中国人が接待として利用することが増えてきた。男女比は女性の方が多いのではないかと。開業当時、ベネズエラ人女性は生魚を食べることを嫌いあまり利用されなかったが、最近の女性は生魚を食べることに抵抗がある人は少ない。現地化された日本食レストランが増え、日本食が身近な存在となったのが要因ではないかと。

Q2. 食材の購入先について

国内の日本食材卸売業者から購入している。また、少数だが日本人、中国人が国内でナス、ネギなどを栽培しており、日本食材を仕入れるのは昔に比べて容易になった。1週間に数回ほど発注しており、食材の仕入れにはあまり困らない。現在利用している国内の卸売業者に発注すれば、翌日には商品が届く。大きな貯蔵施設も必要なく快適。魚類など冷凍品の物流についても特に問題を感じない。

Q3. 日本料理、食材について

日本食はポピュラーな料理になったものの、寿司、天ぷらなどの知名度が高く、他の料理は当地で十分に認知されていない。ベネズエラ人はアレパ(とうもろこし粉を固めて焼いたベネズエラ料理)など伝統的な食生活を維持する一方、新しい物好きで且つ贅沢を好むので、日本食は更に拡大する余地があると思う。ラーメン、うどんは人気がある。一方そばはベネズエラ人にはあまり受けない。お好み焼き、たこ焼きなど粘り気があるせいか、あまり評判が良くない。昔、ベネズエラ人が持つ日本酒のイメージは熱燗だったが、最近では冷酒も人気が高い。今では熱燗と冷の割合は同じくらいではないかと。



(2) 日本食レストラン「ふぐ」

カラカス市内の中・高所得者層の多いラス・メルセデス地区に位置する日本食レストラン。1994年に開業し、18年目。中・高所得者を主な対象とした日本食レストラン。オーナーは日本人で日本人の料理人もいる。

■インタビュー内容

Q1. 客層について

大多数はベネズエラ人で日本人は少ない。したがってベネズエラ人の味覚に合わせて味付けをしている。健康を気にするためか女性客が比較的多い。客の6割は女性ではないか。最近では女性だけの会食で当店を利用してもらうことも多くなった。

Q2. 食材の購入先について

国内卸売業者などを利用している。当地の卸売業者が販売していない日本食材が米国にはたくさんある。いか、エビなど一部の魚介類は国内産を使用している。サーモンはチリ産、ブラジルでは新鮮なカツオが取れる。冷凍物流には問題を感じない。米国からの冷凍品だとしても当地倉庫に入るまである程度品質が保たれていると思う。

Q3. 日本料理、食材について

扱っている日本酒は1種類。ベネズエラ人は辛口を好む。昔は甘口の日本酒を扱っていたがあまり評判が良くないので、辛口に変えた。しかし、近年ベネズエラ人はワインを飲むようになったので、今は日本酒よりもワインの売れ行きの方が良い。ラーメンもうどんも良く売れる。かつ丼や親子丼なども売れる。しかし、ベネズエラ人は生卵は食べないので、見た目では日本人がイメージするかつ丼や親子丼にはならない。



(3) 日本食レストラン「コトスシ」

スリア州の州都マラカイボの日本食レストラン。2000年に開業したマラカイボでは最も歴史のある日本食レストランの一つ。オーナーは日系ベネズエラ人。伝統的な日本食を維持しつつ、現地に合わせた日本食を提供している。

■インタビュー内容

Q1. マラカイボの日本食市場について

マラカイボは約20~30の日本食レストランがある。多くが巻き寿司を提供している。日本食レストラン経営者のほとんどはベネズエラ人で、日本人オーナーが経営している店は当店とバンザイ・スシ（後述）のみ。ベネズエラ人は甘味、酸味、塩味など味がはっきりしている食品を好む傾向にある。最初の5年目、6年目は日本の伝統的な料理を維持していたが、次第にベネズエラの人々の好みに味付けを変えるようになった。天ぷらで揚げた寿司や海苔の代わりにバナナで外側を巻いたスシなども良く売れている。マラカイボで一番売れるのは巻き寿司。当店も売り上げの多くは巻き寿司。

Q2. 客層について

一定の所得が必要となるため30歳から50歳が中心。特に見た目を気にする30代女性が多い。

Q3. 日本料理、食材について

定期的にメニューを変更してベネズエラ人の好みを調べている。カレーはあまり売れない。一方、ラーメンは良く売れる。抹茶は健康に良いというイメージがあるため、多くの客が抹茶を頼むが、抹茶の味はベネズエラ人には苦いらしく、砂糖や蜂蜜もしくはレモンを入れる客が多い。8割はレモンを入れ、残りの2割は砂糖や蜂蜜を入れる。かつ丼は定期的に売れるが、ベネズエラ人は豚よりも牛肉を好むためかつ丼の中身は牛肉を使用している。



(4) 日本食レストラン「バンザイ・スシ」

スリア州の州都マラカイボの日本食レストラン。1999年開業したマラカイボでは最も歴史のある日本食レストランの一つ。オーナーは日本人。現地の味付けアレンジを加えつつ伝統的な日本食を維持している。

■インタビュー内容

Q1. 客層について

体型や健康を気にするためか女性が多い。日本食はベネズエラでも健康に良いというイメージが定着している。価格の問題から客層は30代から50代が多い。

Q2. 食材の購入先について

昔は自身で日本食材の輸入など試みたこともあったが、当地の輸入手続きが煩雑だったため、今は週に1回程度の頻度でカラカスの国内卸売業者から購入している。

Q3. 日本料理、食材について

レストランの料理人の提案で時々新メニューを出し、客の反応を調べることがある。納豆、生卵、お好み焼きはベネズエラ人には受け入れられない。ラーメンの評判は悪くないが仕込みに時間がかかる割に注文数は多くないので、現在のところメニューには入れていない。

Q4. 東日本大震災後の影響について

震災後の客の入りについては全く影響がない。多くの日本食材は日本から直接輸入されるのではなく、米国を経由して輸入されている。米国でのチェックを通った日本食材なので料理する側としても安全性について心配したことはない。



(5) 日本食レストラン「ボンサイ・スシ」

2000年開業の現地風アレンジされた日本食レストラン。オーナーはベネズエラ人。ベネズエラにおける寿司ファストフード店の代表的な存在で従業員数は全体で850名、店舗数は24店舗（2012年8月のヒアリング時点）。ショッピングセンターのフードコートなどに店舗を展開している。巻き寿司が中心のメニューだが、いいたこや焼き鳥など巻き寿司以外の品ぞろえも豊富。

■インタビュー内容

Q1. 客層について

多くの客層に利用してもらえるように、価格帯を分けてメニューを提案している。価格はドリンクとセットで60ボリバルから150ボリバル。平均単価は100ボリバル（約20ドル）程度ではないか。年齢は15歳から50歳くらいまで利用者に幅があり、最も多い客層は18歳から35歳。

最近、「ボンサイ・バル」という中・高所得者層を対象としたレストランをショッピングセンターに開業した。同レストランではすき焼きやろばた焼き、焼き鳥などまだベネズエラ人に馴染みのない日本食を提供する。

Q2. 食材の購入先について

国内卸売業者から購入している。原料は中国産の商品も多い。日本産食品は品質が良いことを十分理解しているが、価格が高くなってしまう。冷凍品の物流についても特に問題を感じたことはない。

Q3. 日本料理、食材について

ラーメンなど今まで扱っていなかった商品について関心がある。現在扱っている日本酒は1種類のみ。「ボンサイ・バル」を開業したばかりではあるが、日本酒のバリエーションは今のところ広げる予定はない。



2. 日本食材店・スーパーマーケット等の状況

家庭で日本食材を使い料理するベネズエラ人は少なく、カラカス市内に存在する日本食材店もごくわずかである。正規のルートで小売店に並ぶ日本食材は日本の小売価格よりも3~4倍程度高くなるため、購買者層は所得者層A、Bクラス以上に限られる。

(1) 日本食材店の状況

日本食材(アジア食材含む)小売店は多くないがカラカス市内に数店舗存在している。店では卸売業者、輸入商社などから購入した日本食材を小分けにして一般消費者に購入しやすいサイズにし、単価を下げて販売している。日本食材を使用する卸業者、レストラン専用の店舗も存在する。

米、海苔、お茶、魚類、ワカメ、食器、茶碗、麺類、調味料、油、枝豆、はし、等々と扱う商品は幅が広い。「大関」など米国産の日本酒は国内のレストランに出回っているが、小売店ではアルコール飲料販売許可の手続き等の問題があり販売していない。輸入食材を販売する「プント21」「レイ・ダビッド」などでは、醤油、すし用の米、カニカマなどの日本食材が販売されている。

日本食、アジア食品専門店の商品写真



(2) スーパーマーケットの状況

日本食はベネズエラの一般的な食品よりも価格が高いため、高所得者層向けのスーパーマーケットで販売されている。

高所得者層向けスーパーを展開する「エクセルシオール・ガマ」「ルベブラス」「プラサス」では、醤油、海苔、すし酢、魚類ではカニカマ、サーモン、カツオ、タコなどが小分けにして販売されている。更にテイクアウトの日本食も販売されており、日本食レストランと比較して20%ほど安価な価格で購入できる。

(3) その他日本食市場

日本食の流行を受け、日本食ケータリング会社や5ツ星ホテルで行うイベントなどで日本食が多く使用されている。また、カラカス市内に中国市場が存在し、週末には多くの中国人が訪れる。中国食品小売店に日本食材（わさび、醤油、菓子類、ソース等調味料）も販売されている。

3. 日本食材輸入業者の状況

ベネズエラ国内の日本食材輸入業者は少数である。日本食輸入卸にカテゴリー分けされていたとしても、実際は魚介類など寿司ネタのみを扱っている卸売業者が多い。カニカマ、海苔、すし酢など多岐にわたる日本の加工食品を輸入している業者は国内では「Distribuidores de FineFoods」、「Alimentos Oceania」、「Distribuidores de Yomokan」の3社と考えられる（別添1. 「日本食材輸入業者リスト」資料参照）。ただし、国内で日本食レストランが拡大傾向にある中、日本食材卸業者の売上額も増加傾向にあり、近年では500万ドルずつ年間売上が増加している輸入業者も存在する。

好景気に浴している日本食材輸入業に新規参入が起こらない理由は当地の煩雑な法制度にある。企業設立は膨大な書類作業、予測することが難しい当局の許認可時期など多数の阻害要因が存在する。これらの理由により日本食材輸入業者は寡占市場となっている。ただし、既存の輸入業者も年々増加する書類作業、コスト増加への対応には苦慮している。例えば、衛生登録を行うに当たり、国内の指定研究所で成分分析を行う必要があるが、この検査費用が2011年から大幅に増加したため、輸入者の負担が増大し、新規商品の衛生登録が難しくなったことなどが挙げられる。

以下、インタビュー企業の意向により企業の特定を防ぐため、国内日本食輸入業者2社のインタビュー内容をまとめて紹介する。

■インタビュー内容

Q1. 商品の販売先について

売上の6割以上はレストランへの販売、2割はスーパーなど小売店、残りの1割未満はホテルやケータリング業者等への販売。

Q2. 日本食材の購入先について

日本食材の輸入先について、ほとんどの商品を米国経由で購入している。輸入業者は中間コストを減らすため、日本企業との直接取引を望んでいるが、意思疎通の問題や輸送期間の長期化によるリスクの増大など阻害要因が多い。その他阻害要因として、日本の食品メーカーが貿易実務に慣れていないことが挙げられる。

今ではほとんどの日本食材は米国で売られている。少量であれば輸入業者は多少単価が高くても日ごろ付き合いのある米国卸売業者経由で購入する。日本との直接取引を考えたのは大量購入ができそうな単品で、そういった商品は極力中間コストを減らしたいと考えている。単品の場合、日本の食品メーカーとの直接取引を望むが多くのメーカーは貿易経験がないため、直接取引に抵抗を感じているようだ。

Q3. 日本食輸入の阻害要因、問題点について

外貨取得、衛生登録、港湾の整備不足が挙げられる。

(1) 外貨取得

詳細は第5章1. 「ベネズエラの貿易制度留意点」に譲るがベネズエラは固定レート制度が採用されているため、外貨獲得には政府の許可が必要となる。4.3 ポリバル=1ドルの公定レートで外貨を獲得するためには官轄官庁の食糧省(MINPAL)の「国内非生産証明書・不十分証明書」が必要となるが、証明書を得るにあたって、この商品が国内市場にとって必要不可欠な存在であり、輸入できない場合は国内産業に被害を与えることを食糧省へ説明し、納得させなければならない。一般的に日本食材は贅沢品として捉えられるため、この証明書を獲得することは一部商品以外難しい(チリ産だがサーモンの輸入に当たっては証明書を獲得することができるようだ)。

公定レートでの外貨獲得が困難な場合は5.3 ポリバル=1ドルのSITMEという合法的な手段を用いて外貨を獲得する必要があるが、購入金額に上限があり、かつ外貨建債券を購入するという方法のため、外貨建債券が市場で売りに出されていない場合は購入できない。つまり現地通貨は十分あるが、輸入決済を行うための外貨を得ることができないことが問題となっている。

(2) 衛生登録

日本食のみの問題ではないが、ベネズエラに食品を輸入するに当たっては管轄省庁で衛生登録を行う必要がある。2011年以降、登録に係る費用が倍になり、登録にかかる時間も年々増加している。今では一つの商品を登録するために半年以上の期間がかかっている。

(3) 港湾の整備不足

港湾の整備不足は深刻な問題で、ベネズエラに貨物が到着し、港湾を出るまでに平均で71日かかっていると言われている。食品は商品の性質上、平均よりも早く通関を通ることができるが、通関までに時間がかかっている。日本から直接輸入する商品は発注後、国内市場に出回るまでに約6カ月の期間が必要となる。

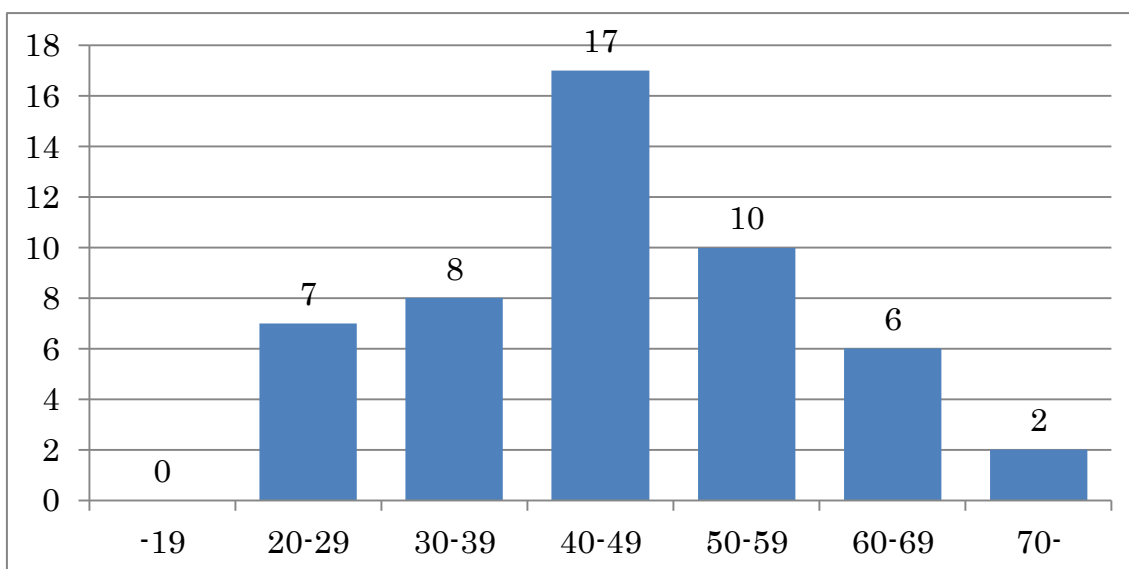
第5章 日本食に関するアンケート調査結果

ベネズエラ人の特徴として新しい物好きで、人と同じ物を購入するなど流行に敏感な傾向がある。2000年代前半頃に米国を経由して広がった寿司ブームは現在では当地に定着している。特に近年は健康志向の高まりから、日本食の人気が更に高まり、寿司以外の日本食の広がりも見せ始めている。また、現地化された寿司は若者にもファストフード感覚で食されており、日本食レストラン利用者の年齢層も幅広い。

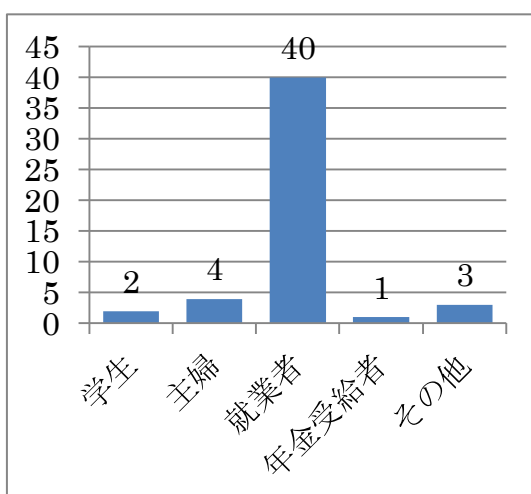
1. アンケート調査基礎情報

ジェトロは2012年7月にベネズエラ人の日本食に対する意識を調査するためアンケート調査を実施した。日本食ターゲットとなる中・高所得者層の多いアルタミラ地区ビジネス街にてアンケートを行った（調査母数50名）。

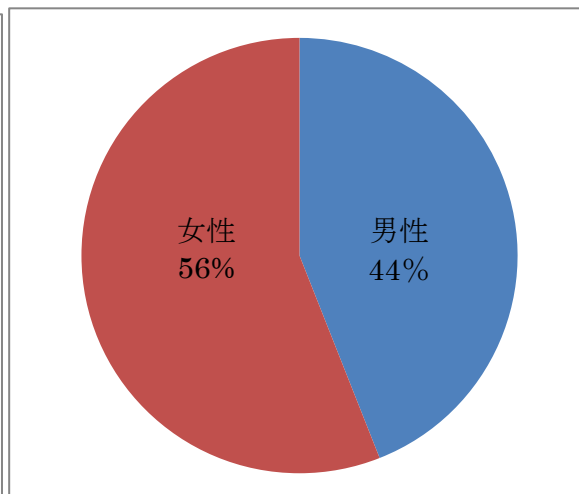
〔表13〕 年齢



〔表14〕 職業



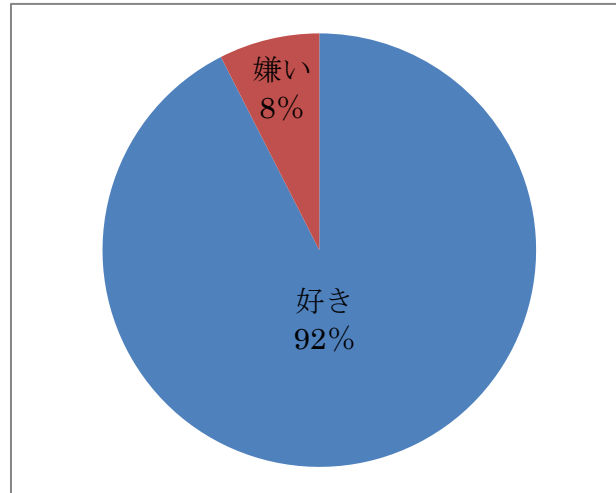
〔表15〕 性別



2. アンケート調査結果

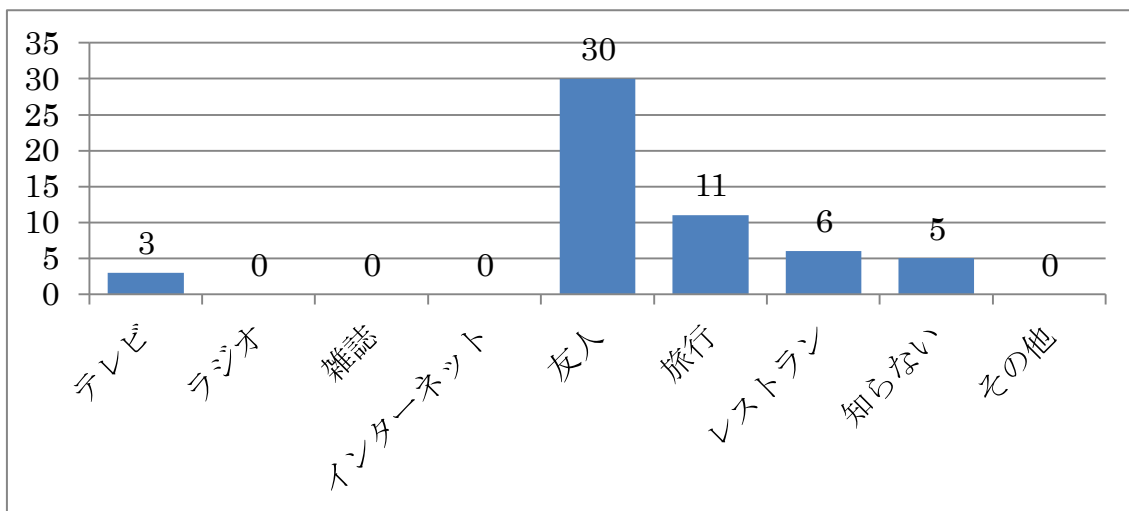
アンケート回答者 50 名全員が日本食について食べた経験があると回答した。
そのうち、92%の回答者は日本食が好きだと回答した。

〔表 16〕 日本食は好きですか？



日本食を食べたきっかけとして多くのベネズエラ人が友人を通して知ったと回答した。一方、テレビ、ラジオ、雑誌、インターネット等広告媒体で日本食を知ったと回答したベネズエラ人は少なく、「テレビ」の3件のみであった。ベネズエラ人は知り合いの勧めで物を購入することが多いのが特徴である。

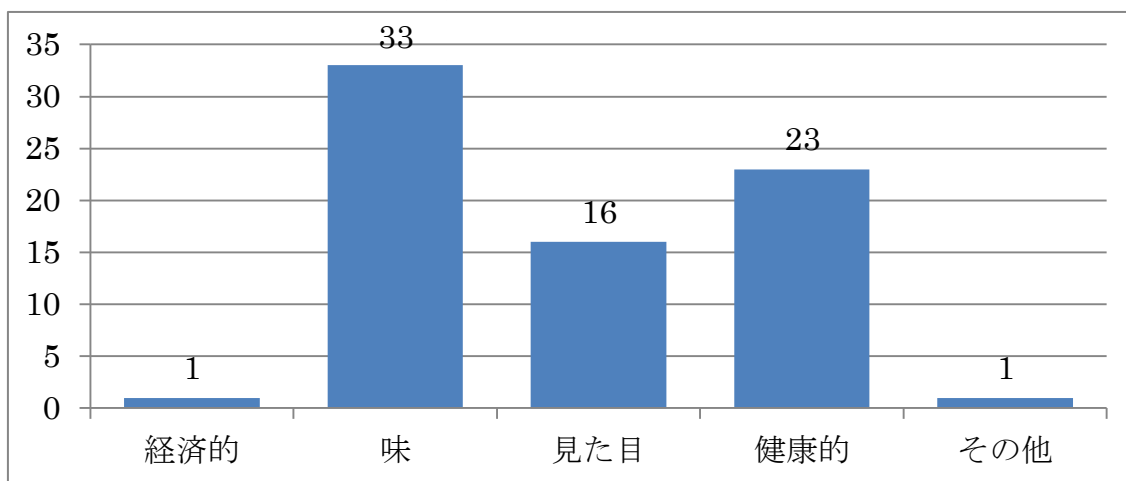
〔表 18〕 日本食をどのように知りましたか？（複数回答可）



日本食が好きと回答した 92%を対象に日本食の魅力について質問をしたところ、最も多かった回答は「味」、次いで「健康的」、「見た目」と続いた。ベネズエラでは日本食は高級食に位置するため、値段を魅力と感ずるという回答者は1名のみであった。

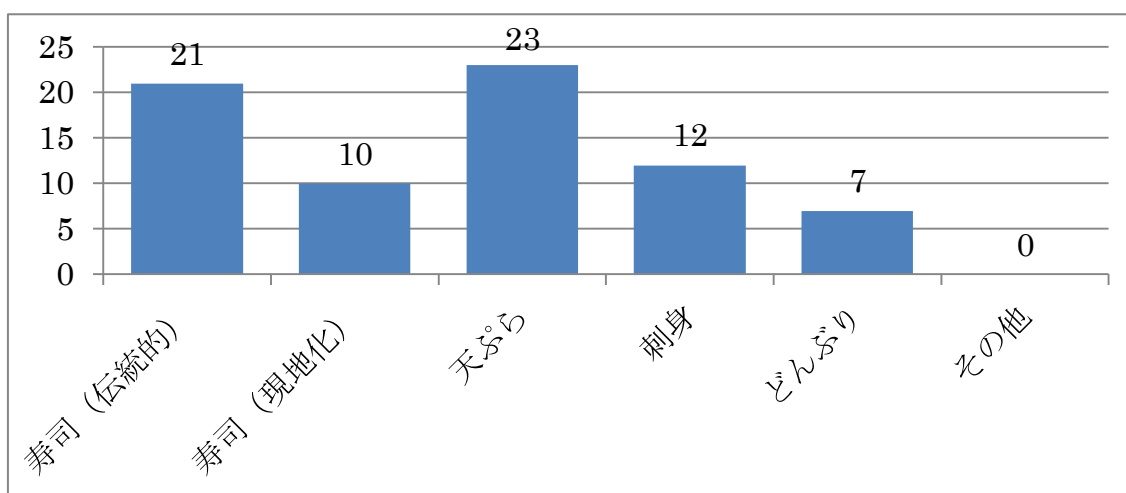
また、日本食が嫌いと回答した 8%に対して、その理由を聞いたところ全員が「味」と回答した。

〔表 19〕 日本食のどこが好きですか？（複数回答可）



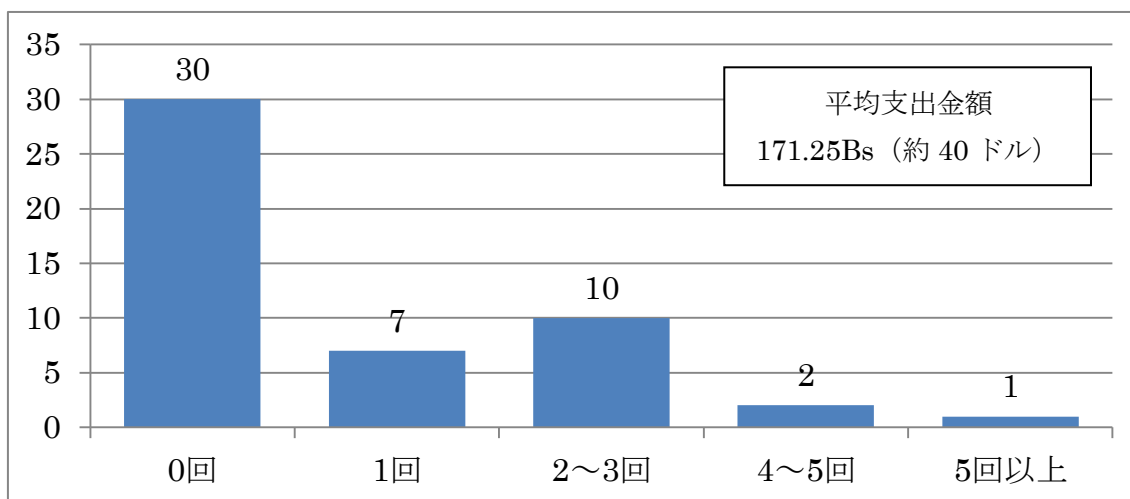
日本食が好きと回答した 92%を対象に好きな日本食について質問したところ、最も多かった回答は「天ぷら」、次いで「伝統的な寿司」、「刺身」、「現地化された寿司」、「どんぶり」と続いた。一方、「ラーメン」、「うどん」、「そば」などは少数の日本食レストランで提供されているのみで、まだベネズエラ人には十分認知されていない。

〔表 20〕 好きな日本食は何ですか？（複数回答可）



日本食レストランの利用頻度および支出金額について質問した。ベネズエラは物価が高く、更にインフレが続いている。特に日本食は贅沢品に位置するため昼食であっても高額になる。昼食では 4 割の回答者が毎月コンスタントに日本食レストランに行くと言った。また「回答なし」を除いた日本食レストラン利用者の平均支出額は 171.25 ボリバル（約 40 ドル）であった。

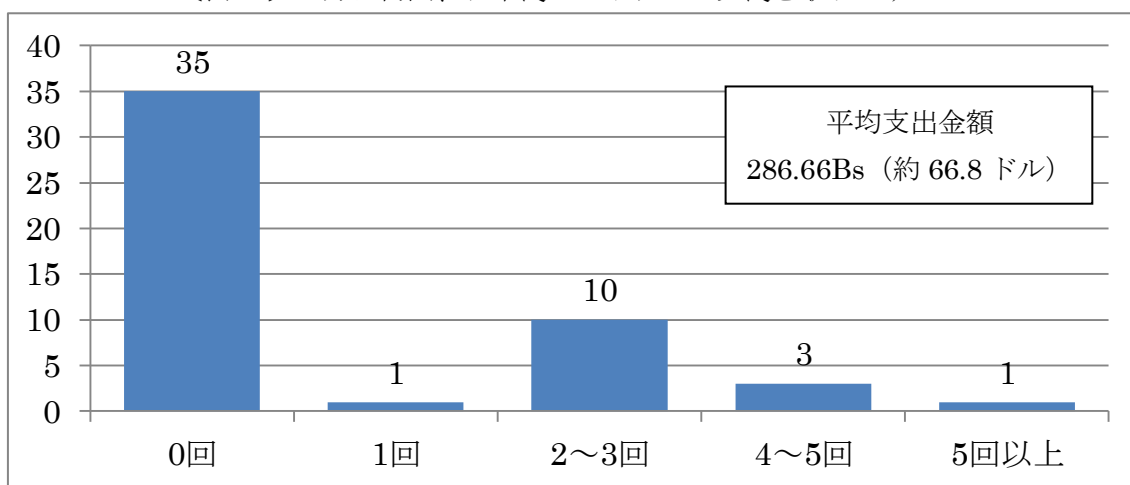
〔表 21〕 月に何回、日本食レストランで昼食を取りますか？



夕食では約 3 割の回答者が毎月コンスタントに日本食レストランに行くと言った。また、「回答なし」を除いた日本食レストラン利用者の平均支出額は 286.66 ボリバル（約 66.8 ドル）であった。

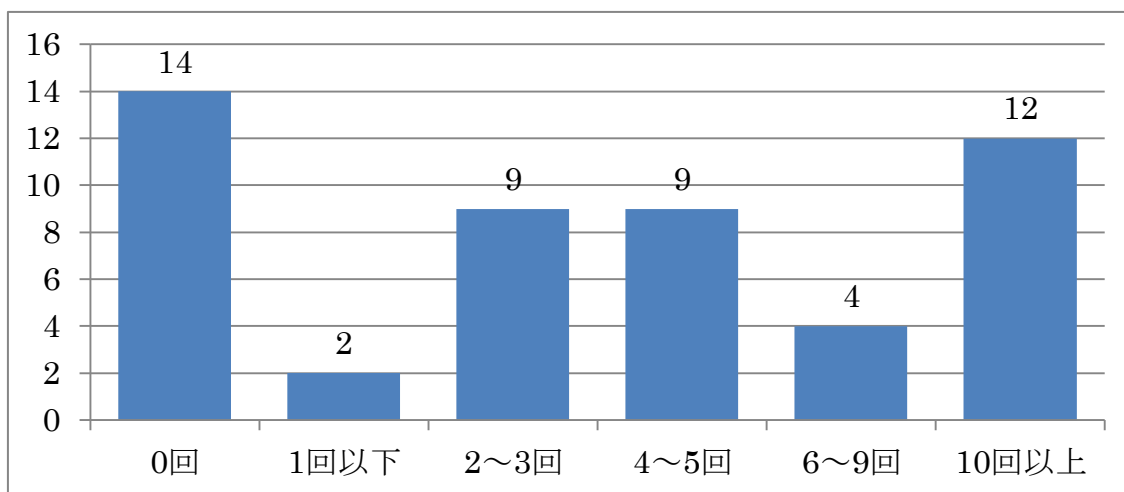
(図 8、図 9 とともに 2012 年 10 月現在の為替レート、4.2893Bs=1US\$で換算)

〔表 22〕 月に何回、日本食レストランで夕食を取りますか？



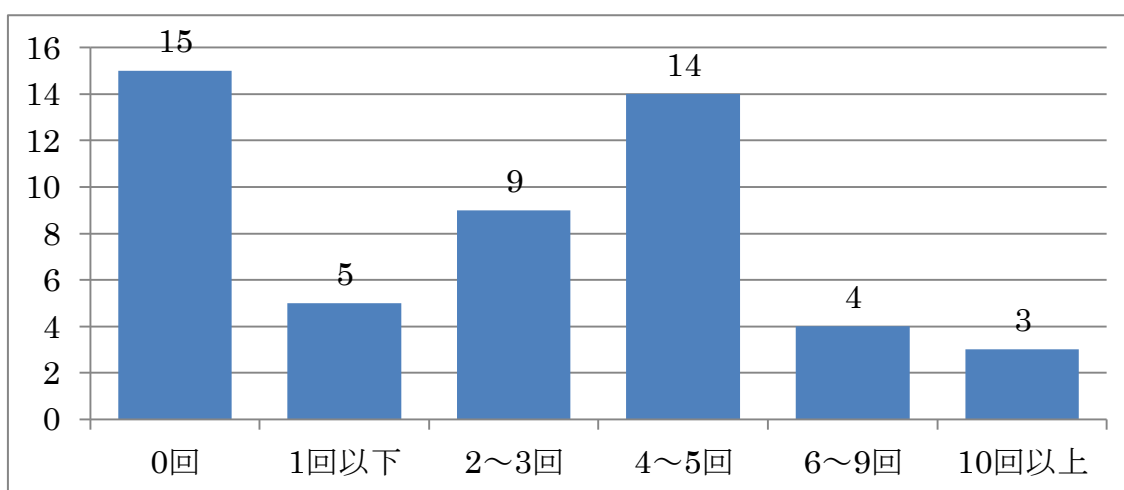
日本食レストランに限らず、昼食の時に月に何回外食をするか質問した。「外食しない」という回答が最も多かったが、12名が「10回以上」と答えた。同12名は仕事の日、ほぼ毎日レストランにて外食をする層と考えられる。

〔表 23〕 月に何回、昼食で外食をしますか？



夕食も同じく「外食しない」の回答が最も多かった。次いで「4~5回」の回答が多く、昼食に比べれば外食回数は減るものの、多くのベネズエラ人が1週間に1回程度の頻度で外食している。

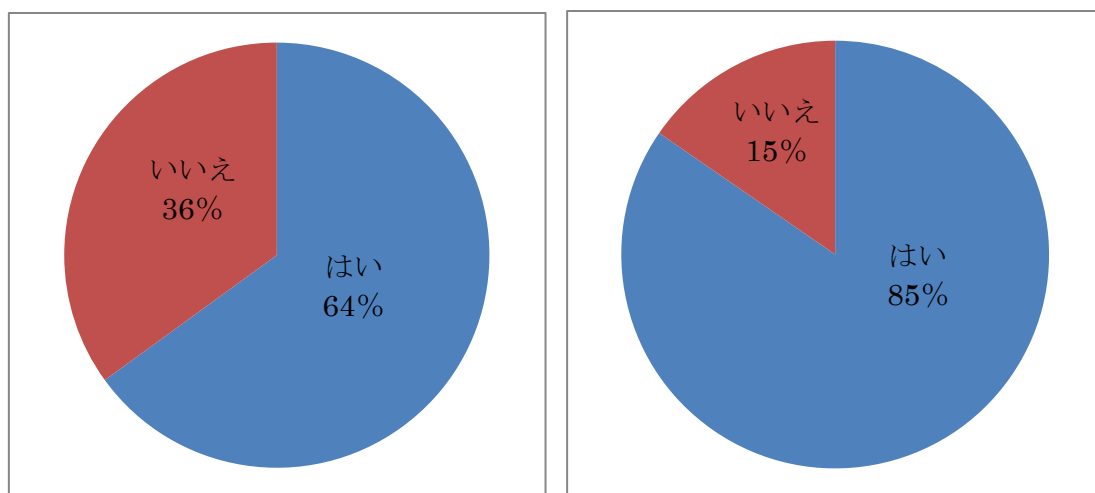
〔表 24〕 月に何回、夕食で外食をしますか？



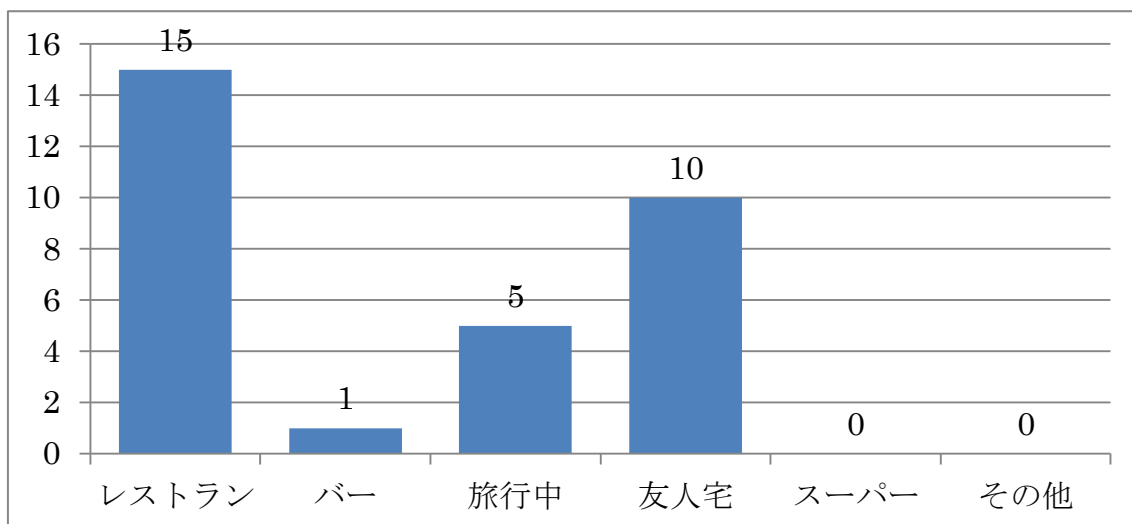
日本酒について質問を行った。「日本酒を飲んだことがある」と回答したのは全体の65%。また「日本酒を飲んだことがない」と回答したベネズエラ人の85%は「機会があれば飲んでみたい」と回答している。

日本酒を飲んだ場所では「レストラン」が最も多く、次いで「友人宅」であった。ベネズエラでは日本酒の輸入者が限られており、国内で扱われている日本酒は現在1種類のみ。「日本酒を飲んだことがない」と回答した者の多くが、どこにも売られていないとコメントしている。

[表 25] 日本酒を飲んだことはありますか？ [表 26] 機会があれば日本酒を飲みたいか？
 （「飲んだことがない」回答者のみ）

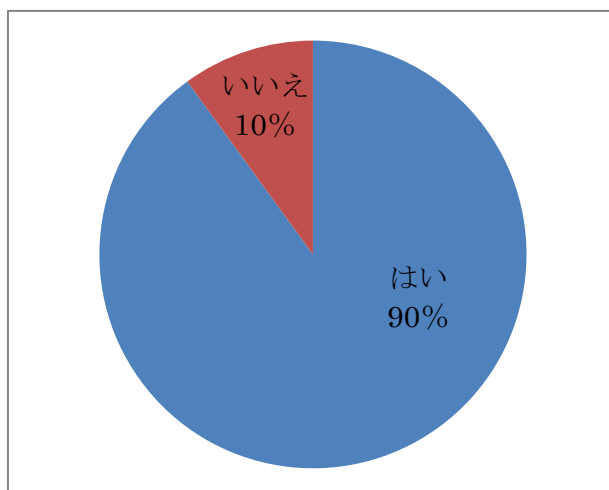


[表 27] どこで日本酒を飲みましたか？（複数回答可）



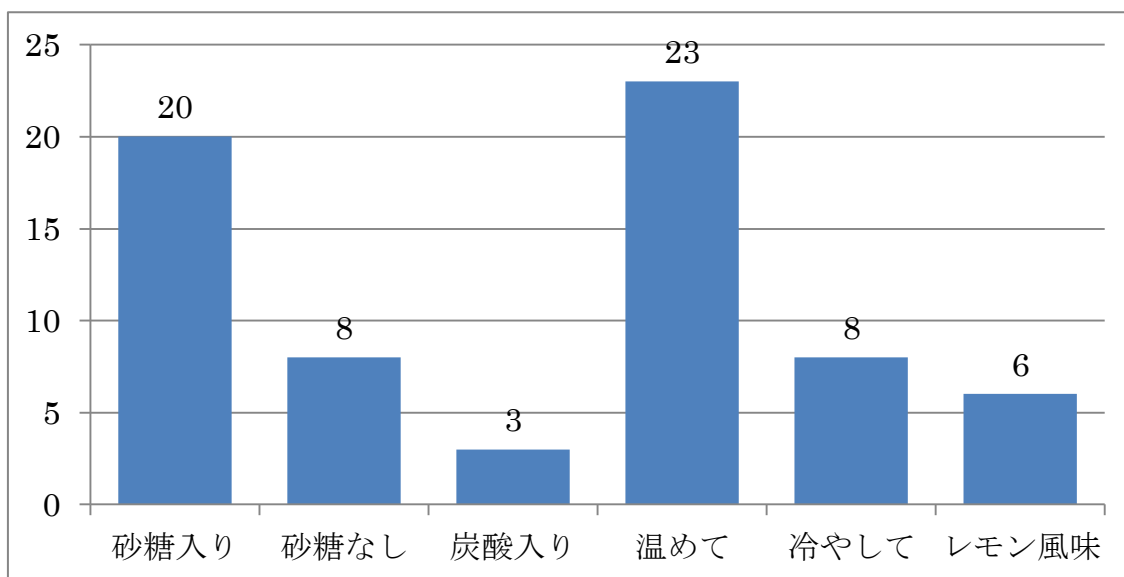
緑茶について質問を行った。9割のベネズエラ人が緑茶を飲んだ経験があると回答している。多くの日本食レストランが緑茶をメニューに入れており、日本食レストランに来た際に緑茶を飲んだと答えている。なお、スーパーマーケットで緑茶を見ることはまれである。

〔表 28〕 緑茶を飲んだことがありますか？



どのように緑茶をのむかという質問について、最も多かった回答は「温めて」、次いで多い回答が「砂糖入り」であった。ベネズエラでは紅茶のように砂糖を入れて緑茶を飲むことが多い。また、冷やして飲む緑茶にはレモン風味が付いていることが多いのも特徴である。

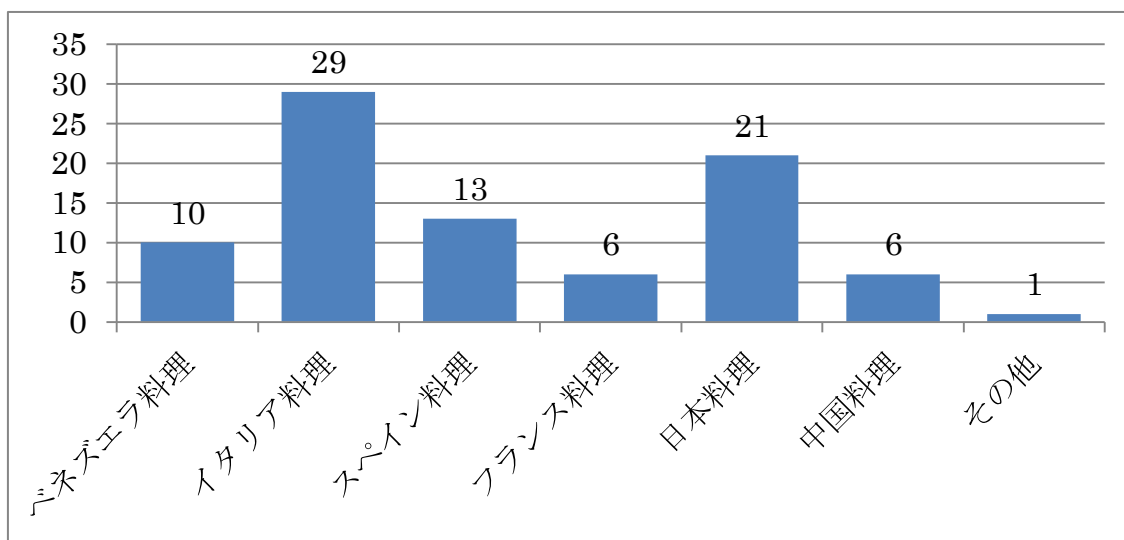
〔表 29〕 どのように緑茶を飲みますか？（複数回答可）



好きな料理について質問を行った。「イタリア料理」の回答が最も多く、「日本料理」は二番であった。「ベネズエラ料理」「イタリア料理」はベネズエラではリーズナブルな料理に位置するため、日本食レストランよりも身近な料理である。

しかし、他国の料理と比較しても日本食レストランはベネズエラ人に好まれる料理であることが分かる。

〔表 30〕 どの料理が好きですか？（複数回答可）



3. アンケート結果まとめ

アンケート結果から、回答者が日本食の味や健康に良いというイメージを評価し、高い関心を持っていることがうかがえた。回答者の中では日本食はイタリア料理に次いで好まれる料理だが、他の料理に比べ価格が高いため利用頻度が低いと考えられる。また、現地化された寿司よりも天ぷらや伝統的な寿司などを好んでおり、どんぶりなど寿司以外の日本食に対する認知も高まり始めていると言えるだろう。

日本食レストランでの平均支出額は昼食の場合、平均支出額は 171.25Bs（約 40 ドル）。輸食の場合は 286.66Bs（約 66.8 ドル）とかなり高額な料理になるがアンケート回答者の中の 50 名中 10 名は 2～3 回ほど昼食、夕食で日本レストランを利用しているという結果になった。

日本酒、緑茶の個別品目についてもアンケートを実施した。日本酒は関心が高いものの、小売店で日本酒を買うことが出来ないなど、国内での販売がレストランに限られているため、十分に知られているとは言い難い。緑茶は十分に知られているものの、砂糖を入れる、緑茶にレモンを絞って飲むなど当地独特の飲み方で飲まれているようだ。

第6章 ベネズエラの貿易制度留意点と食品輸入関連法制度

1. 貿易制度留意点

ベネズエラは2003年2月6日から為替管理制度（固定相場制）を導入している（2012年10月現在、1ドル=4.3ボリバル）。この為替管理のためベネズエラでは決済のための特殊な手続きが存在する。同手続きについて輸出者側が対応する作業はないが、手続きの遅延により決済が遅れることが多々あり、最終的に輸出者側にとって問題となるため、まずベネズエラの外貨決済手続きについて紹介する。

為替管理の実行機関として外貨管理委員会（CADIVI）が設立され、外貨取引を管理している。外貨取引を必要とするものは外貨ユーザー登録を事前に行うことが必要。公定レートで輸入のための外貨を調達する場合、外貨管理委員会から外貨割当を受けなければならない。

また、外貨管理委員会を通じた公定レートでの外貨調達が困難な場合に、公定レートよりは割高になるものの、外貨建てだが現地通貨（ボリバル）で購入可能な債券（国債、国営石油会社PDVSAの社債）を購入し、後に国際市場で売却することで外貨が得られる「SITME」と呼ばれるメカニズムが存在する（2012年10月現在、1ドル=5.3ボリバル）。SITMEでは、1企業に対する1日あたり（5万ドル）および1カ月あたり（35万ドル）の上限金額設定が存在し、同メカニズムを通じた外貨調達の目的は輸入に限定される（例えば配当金送金の目的では調達できない）。

外貨管理委員会を通じた外貨取得手続きに際して「国内非生産証明書・不十分証明書（Certificado de No Producción NacionalあるいはCertificado de Insuficiencia）」と呼ばれる証明書の取得が必要な品目が存在する。これは、当該の品目が国内で生産されていない、あるいはされていても国内製造業に影響を与えるほど生産されていないため輸入して良いという証明書で、管轄省が発給する（品目によって異なる）。対象品目である場合、証明書がないと外貨管理委員会に外貨発給申請ができない。対象品目は不定期に見直されるが、現在有効なリストは2012年8月7日付官報第39980号に公示された関係省による共同決議。

外貨管理委員会を通じた決済手続きの流れ

- (1) 輸入者は管轄官庁（品目によって異なる）から「国内非生産証明書・不十分証明書」を取得し、外貨管理委員会へ同書類を提出すると同時に外貨発給申請を行う。
- (2) 外貨管理委員会は輸入者からの申請受理後、申請内容を審査の上、外貨発給許可（ADD）を発給し、輸入者の申請に対して一定額のドル支払いを認める。
- (3) 輸入者はADDを取得後、発給を許された金額を限度に輸出者へ発注を行い、輸出地より商品が出荷される。

- (4) 商品が輸入地に到着し、国内貨物になった段階で輸入者は外貨管理委員会に外貨送金許可の申請を行う。
- (5) 外貨管理委員会は輸入者からの申請受理後、一定の期間を経て外貨送金許可（ALD）を発給し、本取引に関するドル送金を認める。その後、輸入者の口座から、ドル払い分のボリバル（現地通貨）が差し引かれ、輸出者への送金が完了する。

特に上記（4）から（5）までに数カ月期間を要するため、輸出者への決済遅延が頻繁に発生している。

2. 食品輸入販売関連法制度

(1) 食品輸入制度概要

2011年3月11日の東日本大震災以降、各国で日本食品の輸入規制が導入されているが、ベネズエラにおいては震災の影響で日本食品に課せられた輸入規制は存在しない。ただし、一般的な食品の輸入、販売手続きは管轄省庁が複数にまたがり、許認可に時間がかかる。ベネズエラ国内で販売するまでの手続きは時間を要するが、一度国内市場に入ることができれば、競争が少ないため上手くいくケースも散見される。以下、加工食品の輸入手続きについて説明する（野菜、果物、肉など生で輸入する際は農業・土地省の許可が別途必要となる）。

ベネズエラ国内で販売するに当たり厚生省で衛生登録を行う。輸入者は輸出者から預かった書類を適切な機関へ提出し、登録を完了させればベネズエラ国内への輸入および販売が可能となる。登録のために輸出者は以下の書類を輸入者に提出する必要がある。

(a) 自由販売証明書（Certificado de Libre Venta y Consumo）

原産国の衛生当局が発行する証明書で、登録される商品が原産国で自由に販売され、人間の消費に適していることを証明する書類（スペイン語で記載）。在原産国ベネズエラ領事による認証（公印確認）が必要（一年間有効）。日本の公的機関は同証明書を発行しないため、企業が自ら作成した書類に商工会議所のサイン証明を付けるなどして対応している。

(b) 許可書（Carta de Autorizacion）

商品の製造者が、輸入者に対し、ベネズエラ国内で当該商品の登録、輸入および販売を許可する旨を記した書類（スペイン語で記載）。在原産国ベネズエラ領事による認証（公印確認）が必要（一年間有効）。

(c) 物理化学微生物分析証明書

商品の製造者あるいは原産国の検査機関が発行した証明書（スペイン語で記載）。

(d) 原材料のリスト

原材料の割合が多い順に記入。添加物が入っている場合、その旨を明記すると

ともに配合割合を記載。

(e) 商品基本情報

商品名、賞味期限、保存方法、容量等商品ラベルに記載する事項

(f) 商品サンプル（ベネズエラ国内での成分分析用サンプル）

(g) 原産地証明書（アルコール飲料のみ）

(h) 熟成証明書（ワインなど熟成させるアルコール飲料のみ）

(2) 厚生省への衛生登録手続き

以下、厚生省への衛生登録手続きの流れを記載する。法律上は以下の手続きを 20 日以内に完了すると記されているが、運用上は半年から 1 年間の期間を必要としている。手続きに時間と手間がかかるため、登録手続きは弁護士事務所などに依頼するケースが多い。

(a) 国家税関徴税統合庁（SENIAT）で輸入商品の関税番号を特定し、関税番号や輸入規制を確認する。

(b) 厚生省へ自由販売証明書、許可書および物理化学微生物分析証明書を提出。

(c) 該当商品が国内法にのっとり成分を有しているか確認するために輸入者は登録対象となる商品ごとにベネズエラ国内の指定研究所で成分分析を行い、厚生省へ提出する（検査費用は輸入者負担）。牛乳、肉類など一部の品目については分析結果を標準化・品質・度量衡・技術制度独立庁（SENCAMER）へ提出する必要がある。

(d) その後、輸入者は厚生省へベネズエラ国内で当該商品が理由で発生する問題について全ての責任を持つ旨の宣誓書類を提出する。

衛生登録は登録完了後 5 年間有効で、期限が切れた場合は再度延長手続きを取る必要がある。また原産国の製造場所が変わった、輸入者が変更した、製造者の社名を変更した、原料の配合比率が変わったなど登録時の内容から変更が生じた場合は、登録内容変更手続きを取る必要がある。

(3) 外貨発給申請、決済

衛生登録作業の完了後は本章 1. の通り外貨管理委員会を通して外貨を獲得する場合、輸入者は食糧省へ「国内非生産証明書・不十分証明書」を申請。食糧省から「国内非生産証明書・不十分証明書」が発給された場合、同書類を外貨管理委員会へ提出し、外貨発給許可（ADD）を得る。ADDが発給された後に、輸出国から商品を発送し、商品到着後、輸入者は外貨管理委員会へ外貨送金を申請する。外貨送金許可（ALD）が発給され次第、ドル決済を行う。

(4) 知的財産管理局 (SAPI) への商品登録手続き
ベネズエラ国内で知的財産権の保護を受けるためには SAPI へ以下の情報を提出し商品登録を行う必要がある (任意)。

- (a) 商品の基本情報
 - i) 商品名
 - ii) 製造業者の社名、住所
 - iii) 原材料リスト (分量が多い順に原材料を申請、含有添加物も記載)
 - iv) 香料以外の添加物の含有量
 - v) 保存方法及び賞味期限
 - vi) 商品識別システム
 - vii) 商品カテゴリー
 - viii) 上記の申請内容に間違いがないことを宣言する宣誓書
- (b) 物理化学微生物分析証明書
- (c) 最終的な商品ラベルのコピー、その他印刷された商品に付するイラスト
- (d) 商品サンプル
- (e) 許可書
- (f) 自由販売証明書
- (g) 原産地証明書 (アルコール飲料のみ)
- (h) 熟成証明書 (ワインなど熟成させるアルコール飲料のみ)

3. ベネズエラの食品添加物規則

ベネズエラの強制規格（COVENIN）910：2000「食品添加物に関する一般規則」が適用される。同規則は国家基準・品質・計測技術規則管理局（SENCAMER）のウェブサイトにて確認できる（<http://www.sencamer.gov.ve/sencamer/normas/910-00.pdf>）。同サイトでは添加物を 1.1 から 1.24 の分類に分けて含有基準値が記載している。分類は以下のとおり。

〔表 31〕 ベネズエラの強制規格（COVENIN）910：2000「食品添加物に関する一般規則」

1.1	調味料
1.2	酸味料
1.3	コーティング剤
1.4	硬化剤
1.5	発酵物質、漂白剤
1.6	増粘剤
1.7	色素保持剤
1.8	ケーキング防止剤、接着防止剤
1.9	発泡防止剤
1.10	発泡剤
1.11	酸化防止剤
1.12	着色料
1.13	甘味料
1.14	乳化剤
1.15	保湿剤
1.16	噴射剤
1.17	香料
1.18	塩
1.19	防腐剤
1.20	混濁剤
1.21	香料、着色料の希釈剤、担体物質
1.22	脂肪の結晶化防止物質
1.23	酵素製剤
1.24	リン酸塩

4. 食品に課せられる税金

商品によって異なるが一般的に食品は5%から20%の範囲で関税が課せられる。また、ベネズエラへの食品・飲料輸入に当たっては、関税に加えて以下の税金が課せられる。

- (1) 消費税 (IVA) : CIF 価格の 12%
- (2) 内国税 : 税関手続き料として CIF 価格の 1%
- (3) 酒税 :
 - (a) ラム酒、サトウキビ由来のアルコール飲料は 1 リットル当たり 0.012UT
 - (b) ビター酒、発酵性でないアルコール飲料は 1 リットル当たり 0.0153UT
 - (c) ブランデー、コニャック、ウイスキー、ジンなどサトウキビ由来でないアルコール飲料は 1 リットル当たり 0.102 UT
 - (d) ビールは 1 リットル当たり 0.0025 UT
 - (e) アルコール度数 14 度未満のワインは 1 リットル当たり 0.00045 UT
 - (f) アルコール度数 14 度以上のワインは 1 リットル当たり 0.0025 UT
 - (g) なし、りんごなどの発酵によりできるアルコール度数 7 度未満の果実酒 (シードル) は 1 リットル当たり 0.00045 UT
 - (h) アルコール飲料製造のための度数 100%のアルコールには 1 リットル当たり 0.003 UT

※ UT (租税単位) : 税金、罰金、従業員に対する手当、行政手続き料金などを計算する際のベースとなる。毎年改定され、2012年3月時点で 1UT (租税単位) =90 ポリバル。

また、アルコール飲料は国産、輸入品問わず国内販売税としてビールは 1 リットル当たり 0.00005 UT、その他アルコール飲料には 1 リットル当たり 0.0001 UT の税を課す。輸入品の場合は内国貨物にする際に支払う。

加えて輸入者は以下の税金を内国貨物化した後、90 日以内に支払わなければならない。

- ・ 輸入されたビール、ワインは卸売価格の 15%
- ・ 輸入されたアルコール度数 50 度以下のその他アルコール飲料は卸売価格の 20%

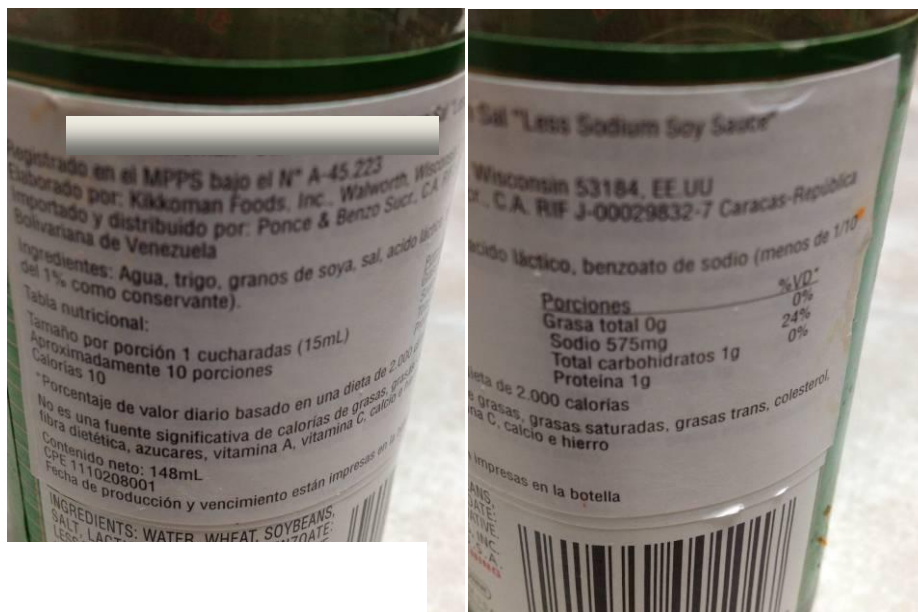
5. 食品ラベルの表示規則

2001年2月13日付官報第37.139号にて公示された決議 No.DM629/14-12-2000 には、ラベル、容器、パッケージ等に最低限表示しなければならない事項が示されている。最低限の表示義務事項は以下の通り。

- (1) 製品を特定できる名称
- (2) 正味容量（個数あるいはメートル法）
- (3) 主成分
- (4) 製品の使用により生じる可能性のある科学的に証明された健康や環境に対するリスクに関する注意書き
- (5) 有効な法律に基づく消費期限
- (6) 製造国、製造者あるいは輸入者の住所
- (7) 有効な法律に基づく使用および保存方法

なお、ラベルあるいは容器の表示は、スペイン語で、消費者が判読しやすくなければならない。また製品の性質や産地について誤った印象を与えるため、虚偽で、あいまいな、あるいは惑わせる方法で作成してはならない。ラベルあるいは容器にスペイン語の表示がない輸入品の場合、輸入者は追加でスペイン語表示のラベルを貼付しなければならない。

商品ラベル一例



6. 輸入手続き関係団体リスト

組織名	住所	電話番号	Eメール	ウェブサイト
食糧省 Ministerio del Poder Popular para la Alimentación (MINPAL)	Av. Andrés Bello, Edificio sede del Ministerio del Poder Popular para la Alimentación (antiguo Edificio las Fundaciones), P.B., Oficina 7, Taquilla Única, Dirección General de Mercadeo, Municipio Libertador, Distrito Capital	(212) 578-4981	minpalexportaciones@minpal.gob.ve, minpalimportaciones@minpal.gob.ve	www.minpal.gob.ve
厚生省衛生管理局 Ministerio del Poder Popular para la Salud – Servicio Autónomo de Contraloría Sanitaria (SACS)	Centro Simón Bolívar, Edificio Sur, Ala Oeste, piso 3, oficina 313, El Silencio. Caracas	(212) 408-0482 / 75	-	http://sacs.mpps.gob.ve/siacs/
標準化・品質・度量衡・技術制度独立庁 Servicio Autónomo Nacional de Normalización, Calidad, Metrología y Reglamentos Técnicos (SENCAMER)	Av. Libertador, Centro Comercial los Cedros. Caracas – Distrito Capital	(212) 703-2005 / 703- 2007 / 703-2010	-	www.sencamer.gob.ve
知的財産管理局 Servicio Autónomo de Propiedad Intelectual (SAPI)	Centro Simón Bolívar, Edificio Norte, Piso 4, El Silencio, al lado de la Plaza Caracas.	(212) 484-5105 / 481-6478 / 484-2907	-	www.sapi.gob.ve
国家税関徴税統合庁 El Servicio Nacional Integrado de Administración Aduanera y Tributaria (SENIAT)	Final Gran Avenida de Sabana Grande, Torre SENIAT, P.B., Plaza Venezuela, Municipio Libertador, Caracas.	(212)709-2888 / 2064 / 2027 / 2710 / 2003	asistenciaaduanas@seniat.gob.ve	www.seniat.gob.ve
外貨管理委員会 Comisión de Administración de Divisas (CADIVI)	Avenida Leonardo Da Vinci, PDVSA Los Chaguaramos, Anexo B1 Oficina B1-211, Urb. Los Chaguaramos, Caracas.	(212)597-7011	atencionusuario@cadivi.gob.ve	www.cadivi.gob.ve

第7章 ベネズエラ日本食市場総論および日本食輸出拡大の可能性について

これまでの内容で分かる通り、ベネズエラでの日本食の人気はブームを超えて定着しており、日本食の人気は更なる高まりを見せている。金額的には安くないが、健康に良いというイメージを追い風に、日々多くの客が日本食レストランに足を運んでいる。

他方、日本からの食品輸入は非常に限られている。理由はベネズエラまでの輸送距離が長く、輸送時間がかかるため賞味期限のある食品は輸送が難しいこと、途中赤道を通り、輸送途中のコンテナの温度が上がるため、高温に耐えられる商品でないと輸送に向いていないこと、円高により他国の商品に比べて価格が高いなど様々な理由が挙げられる。また、寿司に必要な食材は魚介類と米など限られており、魚介類は中南米近辺、米はカリフォルニア米を使用するなど必ずしも日本から食材を輸入する必要がないのが現状である。

日本食レストランの多くはベネズエラ人によって経営されており、シェフもベネズエラ人で、日本食に対する知識はそこまで深くない。レストランへ商品提案を行うのは輸入者になるが、輸入者は料理人ではない。提案された商品をどのように料理に使うかを考えることができないため、自社商品をどのようにレストラン関係者へ紹介するべきか、提案の仕方は日本側の仕事と考えるべきである。

今のところ、ベネズエラ市場で受け入れられる商品はレストラン向けの需要を掘り起こすことができる商品である。例えば、味噌、調味料、天ぷらの材料となる食材、麺類（ラーメン、うどん、そうめん）、おつまみ菓子、日本酒などではないか。以下、各商品について開拓のポイントと課題を記載する。

<味噌>

日本食材の代表の一つと言える味噌だが、ベネズエラでは赤みそが中心でバリエーションは少ない。白みそやあわせ味噌など当地にはあまりない味噌は提案の仕方によっては需要を喚起できる可能性がある。また、味噌は使用用途が広いので、味噌汁以外の料理提案をしていくことが重要である。提案する料理は手の凝った料理ではなく、比較的簡単に作れる商品が受け入れられやすい。

<調味料>

醤油はベネズエラでも十分ポピュラーな調味料で一般のスーパーにも並んでいる。他方、ポン酢、ソース類、塩だれなどベネズエラ国内で普及していない調味料はたくさんある。これらの商品をプレゼンするに当たっては料理提案までをセットにしていくことが必須である。また、九州などで見られる甘口醤油はベネズエラ国内には存在しないため、新たな醤油として開拓の余地があると思われる。提案に当たっては天ぷら、寿司、井ぶりなど既に認知されている料理のアレンジとして提案すると受け入れられやすいと思われる。

<天ぷらの材料となる食材>

第5章のアンケート結果でも分かる通り天ぷらはベネズエラ人に最も好まれる料理のひとつである。現在、よく使用されている食材はえび、かきあげ、かぼちゃ等。あおきのりなど天ぷらにできる食材は受け入れられる可能性が高い。

<麺類>

ラーメン、うどんは少しずつベネズエラ国内で浸透し始めている。ラーメンはとんこつ味、醤油味が多く、スープもセットで提案することで更なる需要を喚起できる可能性がある。そうめんはまだベネズエラでは知られていないが、受け入れられる可能性が高い商品のひとつだろう。一方、そばはあまり好まれないようだ。

<おつまみ菓子>

日本食小売店が少ない当地においては日本菓子類の市場は大きくない。しかし、レストラン向けのおつまみとして提案できる菓子であれば、料理が出される前の時間つなぎなどで需要があると思われる。

<日本酒>

日本食レストランはいたるところに存在するが、日本酒を売っているレストランは少なくとも1種類のみである。これはベネズエラ国内の酒類税法が厳しく輸入業者が酒類の管理を嫌うためである。日本酒がベネズエラ国内で販売されていない理由は供給側の問題で、日本酒に対する需要は少なくない。日本側のベネズエラ国内制度への理解とバックアップがあれば競合の少ないベネズエラ国内に日本酒を拡販できる可能性がある。

最後に、ベネズエラ市場は最初の衛生登録の煩雑さなどから入口は狭いが、一度入ることが出来れば市場に出ている競合が少ないため、有利に働くとも言える。ただし、ベネズエラに商品を輸出し、成功するためには日本側の理解とサポートが不可欠である。日本の製造・輸出業者側が積極的に関与し、商品提案プロモーションを仕掛けていくことが重要なポイントであると思われる。

【別添資料】日本食材取り扱い関係者リスト

1. 日本食材輸入業者リスト

会社名	住所	電話番号	ファックス番号	ウェブサイト
Alimentos Oceania	Calle Bolivar, Edificio Fryan, Urb. La Trinidad, Caracas.	(212) 943-3737	(212) 945-0932	http://www.alimentosoceania.com
Distribuidora Barcopecsa C.A.	Mercado al Mayor de Coche, Edificio E, Local 27, Piso 2, Caracas. (Aviso de Pescaderia Los Roques).	(212) 682-5934	(212) 682-8741	-
Distribuidora Finefoods / Alimentos Finos, C.A.	Calle Tiuna, Galpón número 5, sector industrial La Naya, carretera vieja Las Minas de Baruta, Urb.Santa Inés, Caracas.	(212) 976-0016	(212) 976-3861	http://www.finefoods.com.ve
Distribuidora Salmolux C.A.	Zona industrial del Este, parcela 4, manzana h, calle 2, galpón Salmolux, Guarenas, Estado Miranda.	(212) 363-1179	(212) 361-9056	-
Eximca Agroindustrial	Calle Bolivar, Edf.99, La Trinidad, detras de la Bomba, redoma Mc Donald's, Urb. La Trinidad, Caracas.	(212) 9430921	(212) 943-0921	-
Inversiones CJQ 2001, C.A	Avenida Tamanaco con Calle Terepaima, Zona Industrial El Llanito, Galpón C7, Urb. El Llanito, Caracas.	(212) 257-1480	-	-
Suramericana de alimentos FD.	Avenida Venezuela, Edificio Torre América, piso 3, oficina 3-13, Parroquia El Recreo, Caracas.	(212) 762-7221	(212) 762-7221	-
Comercial Hama (Mercado Chino)	Avenida Gloria, Quinta Bibia, Urb. El Bosque, Caracas.	(212) 731-2070	-	-
Ponce & Benzo CA	2da Avenida, Edificio Ponce&Benzo, Urb. Santa Eduvigis	(212) 286-3822	(212) 283-3389	http://www.ponce-benzo.com/text.php?id=m91
Distribuidora Yomocam Ca	Calle Terepaima, Edificio Nelly, Urb. El Llanito, Caracas.	(212) 257-2887	-	http://www.sobremesacaracas.com/

2. 小売店リスト

(1) スーパーマーケット

会社名	住所	電話番号	ファックス番号	ウェブサイト
Automercados Plazas	Boulevard del El Cafetal con Calle Santa Ana, C. C. El Cafetal, Urb. El Cafetal, Caracas.	(212) 986-7765 / 985-2491	-	http://www.elplazas.com/
Automercado San Lorenzo CA.	6ta. Transversal, Urb. Los Palos Grandes, Caracas	(212) 285-6169/8635/8346	(212) 284-9353	-
Sigo	Avenida Juan Bautista Arismendi, Edificio La Proveeduría, PB, Cruz Grande, Porlamar - Margarita, Estado Nueva Esparta.	(295) 2652000	(295) 274-1218	http://www.sigo.com.ve/
Automercado Klasse	Centro Comercial Santa Eduvig, PB, B-B6, Urb. Santa Eduvigis, Caracas.	(212) 286-7006	-	-
Supermercado 3 de Septiembre	Calle Guaicaipuro con Calle Araure, Centro Comercial El Marqués, PB, Urb. El Marqués, Caracas.	(212) 242-0324	-	-
Supermercado El Patio	3° Avenida con 5° transversal, Centro Comercial El Patio, Local Supermercado, Urb. Los Palos Grandes, Caracas.	(212) 285-8748/6446	-	http://www.elpatio.com.ve/sucursales.php
Automercados Luvebras	Fco Lazo Mart, Cc Centro Plaz, 1, 2930, Santa Mónica, Caracas.	(212) 693-2750	-	http://www.luvebras.com.ve/
Excelsior Gama Supermercados	Avenida San Francisco con calle Mara, Centro Comercial Macaracuay Plaza, Torre A nivel 9, OF 1-8, Urb. Macaracuay, Caracas.	(212) 205-4111	(212) 205-4148	http://www.excelsiorg.ama.com/
Supermercados Garzon	Avenida Nueva Guayana, Frente Escuela de Artes Plásticas, Nueva Guayana, San Cristobal, Estado Táchira.	(276) 3417133	-	http://www.elgarzon.com/

(2) 輸入食品小売店

会社名	住所	電話番号	ファックス番号	ウェブサイト
Lotte Market	2da Avenida con 3ra Transversal,Urb. Los Palos Grandes, Caracas.	(212) 286-7574/4574	-	-
Fresh Fish Delivery	Avenida Los Mangos, Urb. Alta Florida, Caracas.	(212) 731-1929/7314356	-	http://www.freshfishdelivery.com/
	Centro Comercial Xpress, Urb. Macaracuay, Caracas.	(212) 988-5249 / 5387	-	-
Oltre Mare	1era Av. Con 2da Transversal. Edificio REX, Urb. Los Palos Grandes, Caracas.	(212) 285-8893/286-9483	-	-
Alimentos Oceania	Calle Bolivar, Edificio Fryan,Urb. La Trinidad, Caracas.	(212) 943-3737	(212) 945-0932	http://www.alimentosoceania.com/

3. レストランリスト

(1) カラカス首都圏

レストラン名	住所	電話番号	ウェブサイト	料理
AIJO	Centro Comercial La Boyera, Nivel Feria, Urb. La Boyera, Caracas.	(212) 961-6586/6651	http://www.ajiosushibar.com	日本料理、ベトナム料理、ペルー料理
ARA CAFÉ	6° Avenida con 5° transversal de Altamira, Mini Centro Caribia, Locales 6 y 7, Urb. Altamira, Caracas.	(212) 264-2709 / 910-4203	http://www.aracafe.com	多国籍料理、アジア料理、寿司等
ARRECIFE	Centro Comercial Alto Prado PB, Urb. Alto Prado, Caracas.	(212) 978-1364	-	日本料理、タイ料理、ペルー料理
BAR SI THAI GRILL	Calle Madrid entre calle Veracruz y Caroní, Quinta Odebel, Urb. Las Mercedes, Caracas.	(212) 993-9124/1209/991-5568	http://www.barsithai.com	アジア料理 (タイ料理、寿司)
BENIHANA RESTAURANT & DELIVERY	Hotel Radisson Plaza Eurobuilding, Urb. Chuao, Caracas.	(212) 902-1111 /993-0015 Ofc. (212) 265-0571/264-1214	http://www.eurobuilding.com.ve	日本料理
BONSAI SUSHI	OFICINA ADMINISTRATIVA: Calle La Joya con Avenida Libertador, Edificio Unidad Técnica del Este, piso 8, oficina 22, Chacao, Caracas.	(212) 264-0013 / 0384	http://http://www.bonsaisushi.net.ve/	日本料理 (ファストフード)
CASA MIA	Calle Londres, Centro Bora Bora, Urb. Las Mercedes, Caracas.	(212) 991-1858	-	日本料理
SUSHI PLACE / CHENNAI	Avenida Principal de Chuao, Urb. Chuao, Caracas.	(212) 745-9610/830-0871	-	寿司
COCO THAI	Centro Comercial Tolón. Piso 3, Urb. Las Mercedes, Caracas.	(212) 300-8562	-	タイ料理、寿司
CONOS TAMAKERIA	Calles Madrid entre Mucuchíes y Monterrey, Urb. Las Mercedes, Caracas.	(212) 992-5433	http://www.conos.com.ve	日本料理、ペルー料理
	1° Avenida con 2° transversal, Urb. Los Palos Grandes, Caracas.	(212) 435-1718		

レストラン名	住所	電話番号	ウェブサイト	料理
DARUMA SUSHI BAR	Centro Comercial Plaza Las Américas, Nivel Planta Baja, Urb. El Cafetal, Caracas.	(212) 988-0534	-	日本料理
	Hotel Alba Caracas, Lobby, Urb.Los Caobos, Caracas	(212) 503-5005/4114		
ENVOGA	Av. Rómulo Gallegos, Centro Comercial Milleniun, Nivel Plaza, Urb. Los Dos Caminos, Caracas.	(212) 280-1093/1094	-	日本料理
EPIPUREAN MARKET SUSHI	Avenida Andrés Bello entre 2° y 3° transversal, Urb. Los Palos Grandes, Caracas.	(212) 283-3513/286-7538/7840	-	日本料理
FISH MARKET RAW BAR	Centro Comercial El Mirador, Urb. Lomas de San Román, Caracas.	(212) 992-2667	-	海鮮料理、寿司
GOLDFISH	1ª Av. Urbanización Santa Eduvigis, Edificio Sta. Eduvigis, Local 6, Urb. Santa Eduvigis, Caracas.	(212) 286-9492	-	日本料理、ペルー料理
HARUMI	Avenida Andrés Bello, Centro Comercial Ghiringhella, PB, Local 1, Urb. Los Palos Grandes, Caracas.	(212) 286-2501	-	日本料理
HOKKAIDO	Centro Comercial La Casona I, Nivel Feria, Panamericana Km. 16, Urb. San Antonio de Los Altos, Estado Miranda.	(212) 373-6237	-	日本料理
I LOVE SUSHI	Caracas.	(212) 580-7164	-	寿司デリバリー
ICHIBAN	OFICINA ADMINISTRATIVA: Avenida San Felipe, Centro Coinasa, P.B., Urb. La Castellana, Caracas.	(212) 2610780 Ofc. Franquicia	-	日本料理 (ファストフード)
KABUKI SUSHI & SALADS	Avenida Leonardo Da Vinci, Plaza Lincoln, Urb. Bello Monte, Caracas.	(212) 753-4944	-	日本料理

レストラン名	住所	電話番号	ウェブサイト	料理
KAMIKAZE	Calle 7 entre calles 4 y 5, Urb. La Urbina, Caracas.	(212) 837-0185/838-1224	-	日本料理、ベネズエラ料理
KAMPAI	Nivel C1, Centro Comercial Ciudad Tamanaco, Urb. Chuao, Caracas.	(212) 959-0492/1868	-	日本料理、タイ料理
KAMAKURA SUSHI BAR	Centro Comercial Manzanares Plaza, Nivel Mirador, Urb. Manzanares, Caracas.	(212) 943-1959/5843	-	日本料理
KATO	Centro Comercial Paseo EL Hatillo, Piso 5, Urb. El Hatillo, Caracas.	(212) 211-5488	-	日本料理
KENYI SUSHI	Av.Las Colinas, Centro Comercial Las Colinas, Nivel T-3 Terrazas, Urb. Los Samanes, Caracas.	(212) 614-9000 / 942-1230 / 943-5277	http://www.kenyisushi.com.ve	日本料理、ペルー料理
KOI	Calle Los Chaguaramos con Avenida Mohedano, Urb. La Castellana, Caracas.	(212) 265-0074	http://www.koisushisite.com	日本料理
KOME SUSHI BAR	Av. Principal de La Trinidad con calle San Mateo, Urb. La Trinidad, Caracas.	(212) 944-0812/941-3224	-	日本料理
KUDASAI JAPANESE RESTAURANT	1° Avenida La Castellana, Torre Banco Lara, Nivel Comercio, Urb.La Castellana, Caracas.	(212) 262-1959/1961	-	日本料理
MAKI SUSHI & THAI	4° Avenida entre 2° y 3° transversal, Edificio Niza, Urb. Los Palos Grandes, Caracas.	(212) 286-9007	-	アジア料理、寿司
PESCAO SUSHI LOUNGE	2° Avenida entre 3° y 4° transversal, Edificio Aldoral, Urb. Los Palos Grandes, Caracas.	(212) 285-2508	http://www.pescao.com.ve	日本料理
PIDE SUSHI RESTAURANTE	Calle San Rafael, Centro Comercial Plaza La Trinidad, P.B., local 44, Urb. Lomas de La Trinidad, Caracas.	(212) 943-0041 / 887-8991	http://www.pidesushi.com	日本料理

レストラン名	住所	電話番号	ウェブサイト	料理
NOBU SUSHI	2° Avenida, entre 4° y 5° transversal, Urb. Los Palos Grandes, Caracas.	(212) 285-6443/283-6824/285-6052	-	日本料理、ペルー料理
	Centro San Ignacio, Nivel Jardín, Local No. 63, Urb. La Castellana, Caracas.	-		
	Centro Comercial Santa Fé, Nivel Automercado, Local S-2-9, Urb. Santa Fé, Caracas.	(212) 979-1927 / 745-9407		
RESTAURANT BAR AVILA TEI	Avenida San Felipe, Centro Coinasa, P.B., Urb. La Castellana, Caracas.	(212) 263-1520/263-0806	-	日本料理
SAKE LONGE	Centro Comercial Terras Plaza, piso 2, Urb. Terrazas del Club Hípico, Caracas.	(212) 977-4243	-	日本料理
SHOGA (Mismo grupo de YAKITORI)	Centro Comercial Tolón Fashion Mall, Piso 5, Urb. Las Mercedes, Caracas.	(212) 300-8919 / 2021 / 8920	-	日本料理
SKY SUSHI BAR	Av. Principal Colinas de Valle Arriba, Valle Arriba Athletic Club, Nivel Aire, Urb. Valle Arriba, Caracas.	(212) 642-2048	http://www.vaac.com.ve	日本料理
YAKITORI	Av. Colinas de Valle Arriba, Centro Comercial Valle Arriba Market Center, Nivel Calle, Locales 6 y 7, Caracas.	(212) 975-6423/8765	-	日本料理
	6° transversal entre 3° y 4° Avenida de Los Palos Grandes, Quinta Mari, Urb. Los Palos Grandes, Caracas.	(212) 284-4254/2223		
SPICE (Mismo grupo de YAKITORI)	Centro Comercial Galerías Sebucán, 10° transversal con Avenida Los Chorros, Terrazas II de Galerías Sebucán, Urb. Sebucán, Caracas.	(212) 635-2798 / 237-9481	-	日本料理
SUSHI DELIVERY	Calle Páez, cruce con San Ignacio de Loyola, Edificio Residencias Mediterraneo PB, Local 8, Urb. Chacao, Caracas.	(212) 265-3623 / 264-5032	http://www.sushidelivery.com.ve	寿司デリバリー

レストラン名	住所	電話番号	ウェブサイト	料理
SUKIHANA EXPRESS	OFICINA ADMINISTRATIVA: Calle Los Laboratorios, Torre Beta, Piso 1, Ofc. 1-113, Urb. Los Cortijos, Caracas.	(212) 239-7361	http://www.sukihana.com.ve	日本料理 (ファストフード)
	Avenida Rómulo Gallegos, Centro Comercial Millenium Mall, Nivel 4, Local C4-15, Urb. Los Dos Caminos, Caracas.			
	Avenida Principal de Las Mercedes, Centro Comercial Tolón Fashion Mall, Nivel Feria, Local P4-12, Urb. Las Mercedes, Caracas.			
	Avenida Francisco de Miranda, Parque Cristal, Nivel Planta Baja, Local C1-18, Urb. Los Palos Grandes, Caracas.			
	Centro Comercial Sambil, Nivel Feria, Local fr-3, Avenida Libertador, Caracas.			
	Avenida Casanova, Centro Comercial El Recreo, Nivel Feria, Local C-6, Caracas.			
	Avenida José Antonio Páez, Centro Comercial Multiplazas El Paraiso, Nivel Feria, Local F-16, Urb. El Paraiso, Caracas.			
SUSHI MARKET	3ra. Avenida con 4ta. transversal, Edificio San Antonio, Local PB, Urb. Los Palos Grandes, Caracas.	(212) 283-5637	http://sushi-market.net/Default.aspx?ver=sushi-market&opcion=restaurantes	寿司
	4ta. Avenida entre 3ra. y 4ta. transversal, Edificio Aricagua, Nivel PB, Local A, Urb. Los Palos Grandes, Caracas.	(212) 285-4947		
	Calle Colinas del Tamanaco, Centro Comercial El Mirador, Nivel PB, Locales 9 y 10, Urb. San Román, Caracas.	(212) 991-4631 / 992-7765		
	Av. Principal Prados del Este, Centro Comercial Galerías de Prados del Este, Nivel PB, Local PB-09, Urb. Prados del Este, Caracas.	(212) 977-4815		

レストラン名	住所	電話番号	ウェブサイト	料理
SUSHI SAKE EXPRESS	Centro Comercial Macaracuay Plaza, Sótano I, Urb. Macaracuay, Caracas.	(212) 257-5812	-	日本料理 (ファストフード)
SUSHI TOWN	Centro Comercial Galerias Los Naranjos, Nivel Feria, Urb. Los Naranjos, El Cafetal, Caracas.	(212) 986-7634/985-6389	-	日本料理
	Centro Comercial Paseo El Hatillo, Piso 3, Urb. El Hatillo, Caracas.	(212) 211-5390		
TAIKO / GRUPO FUGU	Edf. Canaima, Calle Trinidad, Urb. Las Mercedes, Caracas.	(212) 991-6705/993-5647	http://www.sushifugu.com	日本料理
TASUKA SUSHI & LOUNGE	2° Avenida con calle 32A, Quinta Madre Emilia, Urb. Montalbán, Caracas.	(212) 639-5876	-	日本料理
UMAI	Calle Madrid entre Trinidad y Mucuchíes, Urb. Las Mercedes, Caracas.	(212) 993-5569	-	日本料理
USHIRO NIKKEI & SUSHI BAR (Grupo Ushiro)	Calle California, Cento Comercial California Mall, PB, Terraza, Urb. Las Mercedes, Caracas.	(212) 993-0336/8449	-	日本料理、 ペルー料理
VERANDA	Calle California con Monterrey, Quinta Clement, Urb. Las Mercedes, Caracas.	(212) 993-9009/6636/991-8217/3261	-	イタリア料理、寿司
Wok and Roll	2ª Transversal, Urb. Los Palos Grandes, Caracas.	(212) 283-1465/284-0756	-	日本料理、 タイ料理

(2) アラグア州

レストラン名	住所	電話番号	ウェブサイト	料理
HOSHI SUSHI BAR, C.A.	Avenida Central, Edificio Zimbul, Local Ls - 2, Urb. La Soledad, Maracay, Estado Aragua.	(243) 237-1528	-	日本料理
RANMA SUSHI DELIVERY EXPRESS	Avenida Las Delicias, Centro Comercial Las Américas, Nivel FERIA, Maracay, Estado Aragua.	(243) 232-4907	-	日本料理
KOKAI SUSHI BAR	Avenida Las Delicias, Centro Comercial Paseo Las Delicias, PB, Maracay, Estado Aragua.	(243) 232-8293	http://www.kokai.com.ve	日本料理

(3) アンソアテギ州

レストラン名	住所	電話番号	ウェブサイト	料理
RESTAURANT BABILONIA	Avenida Principal, Edificio Babilonia, Piso PB, Local PB, Urb. El Morro, Lecherias, Estado Anzoategui	(281) 281-6080	-	東洋料理
RESTAURANT PIZZERIA SUSHI BAR	Avenida Prolongación, Centro Comercial Plaza Mayor, PB, Local 24, Lecherias, Estado Anzoategui	(281) 281-3594	-	日本料理、イタリア料理

(4) ボリバル州

レストラン名	住所	電話番号	ウェブサイト	料理
MATSURI EXPRESS	Avenida Guayana, Centro Comercial Cristal, P.B., Alta Vista, Puerto Ordaz, Estado Bolívar.	(286) 961-3195	-	日本料理
VINTAGE BAR RESTAURANT	Cr. Caruachi, Centro Comercial 303, Piso P.B., Local 03, Urb. Caroní, Puerto Ordaz, Estado Bolívar.	(286) 514-2728	-	日本料理

(5) ララ州

レストラン名	住所	電話番号	ウェブサイト	料理
Sakura Sushi & Lounge	Centro Comercial Las Trinitarias, Galería Gastronómica, Barquisimeto, Estado Lara.	(251) 254-1832	http://www.laraturismo.com/gastronomia/contacto.php?restaurant=Sakura	日本料理
	Sambil Mall, Terraza Gastronómica, Barquisimeto, Estado Lara.	(251) 713-7887		

(6) カラボボ州

レストラン名	住所	電話番号	ウェブサイト	料理
INVERSIONES SUCHI YAMA CA	Avenida Monseñor Adam, Valencia, Estado Carabobo.	(241) 825-5962	-	日本料理
KOKAI SUSHI BAR	Calle 139, Local 104-42, Urb. El Viñedo, Valencia, Estado Carabobo.	(241) 824-6178	http://www.kokai.com. ve	日本料理
KOYOKA TEPPAN & SUSHI BAR	Sector Las Clavellina, P.B., Forum de Valencia, Valencia, Estado Carabobo.	(241) 618-9378 / 825-1622	http://www.koyoka.co m	日本料理
OHANA SUSHI BAR	Avenida Orinoco, Centro Comercial Reda Building, Nivel Mezanina, Local 10-13, Sector Valle de Camoruco, Valencia, Estado Carabobo.	(241) 823-4254	-	日本料理
TAIYO SUSHI BAR	El Parral- Valencia - Estado Carabobo.	(241) 825-7335	-	日本料理
WAFFAS FOOD BAR	Av. 107, Centro Comercial Prebo, Local Nt17, Urb. Prebo, Valencia, Estado Carabobo.	(241) 823-8354	-	日本料理

(7) ヌエバ・エスパルタ州

レストラン名	住所	電話番号	ウェブサイト	料理
MEISHO SUSHI	Centro Artesanal Los Robles, Local 4, Pampatar, Estado Nueva Esparta.	(295) 611-7758	-	日本料理
RESTAURANT NIKKEI	Avenida Francisco Estéban Gó mez con Avenida Bolívar, Hotel La Samanna de Margarita, Urb. Costa Azul, Porlamar, Isla de Margarita, Estado Nueva Esparta.	(295) 264-5564 / 262 -8455	-	日本料理
RESTAURANT SUSHI BOAT	Av. Bolívar, C C Costa Azul, Costa Azul, Porlamar, Estado Nueva Esparta	(295) 2670448	-	寿司
UMI SUSHI EL TEPPAN	Los Uveros, Caribbean Center Mall, P.B., Urb. Costa Azul, Porlamar, Isla de Margarita, Estado Nueva Esparta.	(295) 262-6055	-	寿司

(8) タチラ州

レストラン名	住所	電話番号	ウェブサイト	料理
CROCANTE CAFÉ SUSHI BAR	Cr. 24, Local 11-76, Sector Barrio Obrero, San Cristobal, Estado Tachira	(276) 355-4046	-	寿司バー

(9) スリア州

レストラン名	住所	電話番号	ウェブサイト	料理
BANZAI SUSHI BAR	Av. 11, 11-42, Tierra Negra, Maracaibo, Edo. Zulia	(261) 798-6334	-	日本料理
IDAKO SUSHI BAR & DELIVERY	Avenida 12 con calle 52, Centro Comercial El Portal, PB, Local 1, Maracaibo, Estado Zulia	(261) 326-2812	www.idakosushi.com	寿司バー
KAORI	Avenida 2, El Milagro, Centro Lago Mall, Maracaibo, Estado Zulia	(261) 792-1958	-	アジア料理
KOKAI SUSHI BAR	Avenida 5 de Julio, entre Avenidas 3C y 3D, Maracaibo, Estado Zulia.	(261) 793-6245/ 791-2396	www.kokai.com.ve	日本料理
RESTAURANT SUSHI BAR	Av. 11 entre 72 Y 73, Local 72-50, Sector Tierra Negra, Maracaibo, Zulia	(261) 797-8797	-	寿司バー
RESTAURANT KOTO SUSHI	Av. 11, OF 7540, Tierra Negra, Maracaibo, Edo. Zulia	(261) 798-8954	-	日本料理
SUKHOTHAI	Centro Comercial Lago Mall, y Centro Comercial Doral Mall, Maracaibo, Estado Zulia	(261) 808-0990	-	日本料理、 タイ料理

出所： Páginas Amarillas2011

2012 年度

ベネズエラ日本食品消費動向調査

発行 2012 年 12 月

発行所 日本貿易振興機構（ジェトロ）

農林水産・食品部

海外調査部

カラカス事務所

東京都港区赤坂 1-12-32

電話 03（3582）4690（海外調査部 中南米課）

©JETRO（無断転載を禁じます）